

単元名	Lesson 1: Hello, everyone.		教科書ページ	pp.14-23
	友達のことをもっと知ろう。		配当時数	8 時間
単元目標	名前や名前のつづり、好きなものやもっているものなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、伝え合ったりすることができる。			
主な言語材料	表現	Hello., My name is (Hayashi Natsuki)., I like (baseball)., How do you spell your name?, What (animal) do you like?, I want (cats) .		
	語句	色 / 果物・野菜 / スポーツ / 動物 / 身の回りのもの		
関連する領域別目標	(1)聞くこと ア / (3)話すこと [やり取り] ア, イ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 Hello. My name is ～., How do you spell your name?, What ～ do you like?, I like ～., What do you want?, I want ～ . 及びその関連語句 (以下, 主な言語材料) などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉 主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどについて, 主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	互いのことをよく知るために, 名前や名前のつづり, 好きなものやもっているものなどを伝え合っている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆あいさつや自己紹介の言い方について理解することができる。				
	○Let's Watch and Think 1 で, 登場人物の話を見聴する。				記録に残す評価は行わないが, 目標に向けた指導を行う。
	○Follow Up で, 話の概要を捉え, 単元のゴールを設定する。				Let's Try 1, 2 における児童の活動状況を見取

	○Let's Play 1 で、先生や友達の好きなものを尋ねたり、自分の好きなものを答えたりする練習をする。				り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Listen 1 で、登場人物の自己紹介を聞く。				
	○Let's Try 1 で、自分の名前と好きなものや好きなことを言う。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの文字の形と読み方に慣れる。				
2	◆あいさつや自己紹介の表現や自分の名前のつづりの言い方を理解することができる。また、名前のつづりを聞いたり言ったりすることができる。				
	○Small Talk で、好きな動物について指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導を行う。児童が自分の名前に使われている文字を認識しているかどうかを見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 2 で、登場人物の自己紹介の様子を視聴し、気付いたことを書く。				
	○Let's Play 2 で、アルファベットの大文字に慣れる。				
	○Let's Listen 2 で、登場人物の名前のつづりを聞く。				
	○Let's Try 2 で、自分の名前とそのつづりを伝え合う。				
3	◆自分の名前とそのつづりを伝え合うことができる。				
	○Let's Play 3 ① で、アルファベットの小文字に慣れる。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童がアルファベットの大文字・小文字を認識しているか見取り、指導に生かす。
	○Let's Play 3 ② で、アルファベットの大文字、小文字のカードを使って春陽や夏輝、身近な人の名前を表す。				
	○Activity 1 で、アルファベットのカードを使いながら、自分の名前とそのつづりを伝え合う。				
	○Let's Listen and Read 1 で、人物の名前 (Shibusawa Eiichi, Tsuda Umeko) を読む。また、使われている文字を読む。				
	○Let's Write 1 で、自分の名前を書く。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの大文字の形と読み方に慣れる。				

4	◆身の回りのものなどの言い方を理解し、好きなものなどについて聞き取ったり、尋ねたり答えたりすることができる。			
	○Small Talk で、好きな数について指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。			
	○Let's Watch and Think 3 で、好きなものについて、登場人物の話を視聴する。			
	○Let's Play 4 で、身の回りのものなどの言い方を練習する。			
	○Let's Listen 3 で、登場人物の好きなものとそうではないものについて聞き取る。			
	○Let's Try 3 で、ペアで好きなものについて尋ねたり答えたりする。			
5	◆自分の好きなものや欲しいものについて、尋ねたり答えたりすることができる。			
	○Let's Play 5 で、「カテゴリー・ゲーム」を通して身の回りのものなどを聞いたり言ったりする。			
	○Activity 2 で、自分の好きなものや欲しいものについて、ペアで尋ねたり答えたりする。			
	○Let's Listen and Read 2 で、春陽の好きなものを聞きながら、文を指で追う。			
	○Let's Write 2 で、好きなものの絵を描き、文字をなぞって好きなものを伝える文を作る。			
	○Sounds and Letters で、アルファベットの文字の形と読み方に慣れる。			
6	◆登場人物の自己紹介を聞き取ったり、欲しいものについて尋ねたり答えたりすることができる。			
	○Small Talk で、飼っているものや持っているものについて、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。			
	○Let's Watch and Think 4 で、世界の子もたちの自己紹介の様子を視聴する。			
	○Let's Listen 4 で、登場人物の会話を聞いて、それぞれの名前のつづりや好きなもの、欲しいものについて聞き取る。	聞		
			◎主な言語材料などについて理解し、名前や名前のつづり、好きなものや持っているものなどについて、具	

				体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。
	○Let's Try 4 で、ペアで欲しいものについて尋ねたり答えたりする。			
7	◆互いのことをよく知るために、自己紹介をしたり、好きなものや欲しいものについて尋ねたり答えたりすることができる。			
	○Activity 3 で、互いのことをよく知るために、自己紹介をしたり、質問をしたり答えたりする。	や	や	◎主な言語材料について理解し、名前や名前のつづり、好きなものや持っているものなどについて、主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。 ◎互いのことをよく知るために、名前や名前のつづり、好きなものや持っているものなどを伝え合っている。
	○Let's Listen and Read 3 で、夏輝の欲しいものを聞きながら、文を指で追う。			
	○Let's Write 3 で、欲しいものの絵を描き、欲しいものを伝える表現をなぞる。			
	○Sounds and Letters で、アルファベットの文字の形と読み方に慣れる。			
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、英語の文字の音について知る。			
	○Song Box で、“ABC Song”を歌う。			
	○Around the World で、中国、ニュージーランド、フランスのあいさつの仕方に関する動画を視聴する。			
	○Letter Box で、文字と音との関連について知る。			
	○Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読む。			
	○CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。			

単元名	Lesson 2: When is your special day?		教科書ページ	pp.24-33
	クラスのスペシャル・カレンダーを作ろう。		配当時数	8 時間
単元目標	相手のことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、伝え合ったりすることができる。			
主な言語材料	表現	My birthday [special day] is (January 1st)., When is your birthday [special day]?, It's (my birthday) ., Do you like [want] (dogs)?		
	語句	月・年 / 日づけ / 季節 / 年中行事など		
関連する領域別目標	(1)聞くこと イ, ウ / (3)話すこと [やり取り] イ, ウ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 My birthday [special day] is ~ ., When is your birthday [special day] ?, It's ~ ., Do you like ~ ? 及びその関連語句 (以下、主な言語材料) などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	相手のことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなど、具体的な情報を聞き取っている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉 主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉 誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどについて、主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	互いのことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどを伝え合っている。	互いのことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどを伝え合おうとしている。

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆月の言い方を理解することができる。				目標に向けた指導を行う。 Let's Play 1 や Let's Listen 1 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 1で、登場人物の誕生日や特別な日についての話を視聴する。				
	○Follow Up で話の概要を捉え、単元のゴールを共有する。				
	○Let's Play 1で「ポインティング・ゲー				

	ム」などを通して月の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 1 で月の名前やその月に行われる行事などを聞き取る。				
	○Let's Try 1 で自分の誕生日がある月を言う。				
	○Sounds and Lettersで、アルファベットの大文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。				
2	◆誕生日の言い方を理解することができる。				
	○Small Talkで、名前に含まれる文字の数について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				目標に向けた指導を行う。 Let's Play 2 や Let's Try 2 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 2で3人の外国の子どもたちの学校が何月に始まるかを聞き取る。				
	○Let's Play 2で「ポインティング・ゲーム」を通して日にちの言い方(序数)に慣れる。				
	○Let's Listen 2 で登場人物の誕生日を聞き取る。				
	○Let's Try 2 で自分の誕生日を言う。				
3	◆誕生日を聞き取ったり、尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Let's Play 3 で先生や友達を選んだカードの日づけを言う。				目標に向けた指導を行う。 Let's Play 3 や Let's Listen 3 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Listen 3 で3人のキャラクターの誕生日を聞き取る。				
	○Activity 1で、互いのことをよく知るために、誕生日を尋ね合い、バースデー・チェーンを作る。				
	○Let's Listen and Read 1で誕生日の言い方の音声を聞きながら文を指で追う。				
	○Let's Write 1 で自分の誕生日を書く。				
	○Sounds and Lettersで、アルファベットの大文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。				
4	◆特別な日を聞き取ったり、尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Small Talkで、名前に含まれる e の数について、指導者の話を聞いたり、指導者や				目標に向けた指導を行う。 Let's Play 4 や Let's Try 3

	友達とやり取りしたりする。				における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 3で、外国の子どもの特別な日についての話を視聴する。				
	○Let's Play 4で、日づけを聞いて書き、その日に関連する祝日や行事を線で結ぶ。				
	○Let's Try 3で、ペアで特別な日を尋ねたり答えたりする。				
5	◆登場人物の特別な日とその理由について聞き取ったり、尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Let's Play 5で、日本の3つの記念日(イチゴの日、イヌの日、ネコの日)を予想して言う。				
	○Let's Listen 4で、登場人物の特別な日とその理由について聞き取って書く。	聞			◎主な言語材料などについて理解し、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。
	○Activity 2で、相手のことをよく知るために、特別な日を尋ねたり答えたりして伝え合い、その結果をカレンダーに記録する。				
	○Let's Listen and Read 2で、春陽と秋太の特別な日を聞きながら、文字を指で追う。				
	○Let's Write 2で、自分の特別な日を書く。				
	○Sounds and Lettersでアルファベットの大きな文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。				
6	◆特別な日とその理由について、相手のことをよく知るために話を聞き取ったり、友達と尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Small Talkで、名前に含まれる a の数について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Let's Play 6で、国際女性デー(3月8日)、世界食糧デー(10月16日)、国際水の日(3月22日)の日づけを英語で言う。				
	○Let's Listen 5で、田中先生とジャック先生の会話を聞いて、ジャック先生に最も喜んでもらえるプレゼントとその理由について	聞			◎相手のことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものな

	書く。				ど、具体的な情報を聞き取っている。
	○Let's Try 4 で、特別な日とその理由をペアで尋ねたり答えたりする。	や			◎主な言語材料について理解し、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどについて、主な言語材料を用いて伝え合う技能を身に付けている。
7	◆クラスのスペシャル・カレンダーを完成させるために、誕生日や特別な日、その理由について尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Activity 3で、クラスのスペシャル・カレンダーを完成させるために、誕生日や特別な日などについて伝え合う。		や	や	◎互いのことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどを伝え合っている。 ◎互いのことをよく知るために、誕生日や特別な日、好きなものや欲しいものなどを伝え合おうとしている。
	○Let's Listen and Read 3 で、音声を聞きながら文字を指で追う。				
	○Let's Write 3 で、特別な日を尋ねる文を完成させる。				
	○Sounds and Lettersでアルファベットの大文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。				
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、アルファベットの大文字を識別する。				
	○Song Box で、“Apples, Peaches, Pears, and Plums”を歌う。				
	○Around the Worldで、モンゴル、オランダ、ブラジルの行事や祭りを紹介する動画(QR)を視聴し、それぞれの国にはどのような行事があるかを聞き取る。				
	○Letter Boxで、絵の中に隠れたアルファベットの大文字を探す。				
	○Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読む。				
	○CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振				

	り返る。				
--	------	--	--	--	--

単元名	Lesson 3: What do you have on Mondays?		教科書ページ	pp.34-43
	将来の夢をかなえるための時間割を作ろう。		配当時数	8 時間
単元目標	相手のことをよく知るために、好きな教科や将来の夢のための時間割などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、自分のことをよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。			
主な言語材料	表現	What do you have on (Mondays)?, I [We] have (Japanese) on (Mondays)., Do you have (Japanese) on (Mondays)?, I like (English)., I want to be a (teacher).		
	語句	一週間 / 教科など / 文房具 / 職業		
関連する領域別目標	(1)聞くこと イ, ウ / (4)話すこと [発表] イ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 What do you have on ~ ?, I [We] have ~ on ~., Do you have ~ on ~?, I like ~ ., I want to be ~.及びその関連語句 (以下、主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉好きな教科や将来の夢のための時間割などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。</p>	相手のことを知るために、好きな教科や将来の夢のための時間割などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしている。	相手のことを知るために、好きな教科や将来の夢のための時間割などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしようとしている。
話すこと [発表]	<p>〈知識〉主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉将来の夢のための時間割について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢のための時間割について、自分の考えや気持ちを含めて話している。	自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢のための時間割について、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆教科名の言い方を理解することができる。				
	○学級のその日の時間割を見ながら指導者の話を聞いたり、好きな教科についてやり取				目標に向けた指導を行う。 Let's Play 1 や Let's Listen

	<p>りをしたりする。</p> <p>○Let's Watch and Think 1 で、ベンのクラスの時間割について話を聞く。</p> <p>○Follow Up で話の概要を捉え、単元のゴールを共有する。</p> <p>○Let's Play 1 で、「ポインティング・ゲーム」を通して教科の言い方に慣れる。</p> <p>○Let's Listen 1 で教科名を聞き取る。</p> <p>○Let's Try 1 で、クラスの今日の時間割について言ってみる。</p> <p>○Sounds and Letters で、アルファベットの小文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。</p>				1における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
2	◆好きな教科について、聞き取ったり伝え合ったりすることができる。				
	<p>○Small Talk で身の回りにあるものについて、指導者の話を聞いたりやり取りをしたりする。</p> <p>○学級のその日の時間割を見ながら指導者の話を聞いたり、好きな教科についてやり取りをしたりする。</p> <p>○Let's Watch and Think 2 で登場人物の好きな教科について聞く。</p> <p>○Let's Play 2 で、「ミッシング・ゲーム」を通して教科の言い方や好きな教科の言い方に慣れる。</p> <p>○Let's Listen 2 で、登場人物の好きな教科について聞き取る。</p> <p>○Let's Try 2 で、好きな教科を伝えたり、その教科が好きかどうかを相手に尋ねたりする。</p>				<p>目標に向けた指導を行う。</p> <p>Let's Listen 2 や Let's Try 2 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。</p>
3	◆好きな教科について、尋ねたり答えたりすることができる。				
	<p>○Let's Play 3 で、Chant Box ②や「ステレオ・ゲーム」を通して好きな教科の言い方に慣れる。</p> <p>○Activity 1 で、好きな教科について尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Let's Listen and Read 1 で音声を聞きながら文を指で追う。</p>				<p>目標に向けた指導を行う。</p> <p>Activity 1 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。</p>

	○Let's Write 1 で自分の好きな教科の単語を書き写す。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの小文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。				
4	◆好きな教科や将来の夢について、聞き取ったり話したりすることができる。				
	○Small Talk で持ち物やその数について、指導者の話を聞いたり、質問に答えたりする。				
	○Let's Watch and Think 3 で外国の時間割やその子どもたちの将来の夢について聞き取る。				
	○Let's Play 4 で、「ポインティング・ゲーム」を通して職業の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 3 で、登場人物の好きな教科や将来就きたい職業について聞き取る。	聞			◎主な言語材料などについて理解し、好きな教科や将来の夢などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。
	○Let's Try 3 で、将来就きたい職業や好きな教科についてペアで伝え合う。	(発)			
5	◆自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢とそれをかなえるための時間割について話すことができる。				
	○Let's Play 5 ① で、「インフォメーション・ギャップ・ゲーム」を通して時間割について、尋ねたり答えたりする。				
	○Let's Play 5 ② で、「ジェスチャー・ゲーム」を通して職業の言い方に慣れる。				
	○Activity 2 で、将来の夢をかなえるための時間割を考え、グループで伝え合う。	発	発		◎主な言語材料について理解し、将来の夢のための時間割について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ◎自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢のための時間割について、自

					分の考えや気持ちを含めて話している。
	○Let's Listen and Read 2 で音声を聞きながら文を指で追う。				
	○Let's Write 2 で自分が就きたい職業を書き写す。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの小文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。				
6	◆相手のことをよく知るために、将来の夢について聞き取ったり、夢をかなえるための時間割について話したりすることができる。				
	○Small Talk で好きな曜日について、指導者の話を聞いたりやり取りしたりする。				
	○Let's Listen 4 で、登場人物の時間割について聞き、将来の夢をかなえるためにおすすめの教科とその理由を書く。		聞	聞	◎相手のことを知るために、好きな教科や将来の夢のための時間割などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしている。 ◎相手のことを知るために、好きな教科や将来の夢のための時間割などについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしようとしている。
	○自分の将来の夢をかなえるための時間割を見直し、表現を考える。				
	○Let's Try 4 で、互いのことをよく知るために、将来の夢をかなえるための時間割について、好きな教科や将来の夢などを話す。	発			◎主な言語材料について理解し、将来の夢のための時間割について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。
7	◆自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢をかなえるための時間割を発表することができる。				
	○Activity 3 で、全体やグループで、自分のことをよく知ってもらうために将来の夢をかなえるための時間割について発表する。		発	発	◎自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢のための時間割について、自

				分の考えや気持ちを含めて話している。 ◎自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢のための時間割について、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。
	○Let's Write 3 で、夢をかなえるための時間割を書く。			
	○Sounds and Letters で、アルファベットの小文字をなぞったり、お手本を見ながら書いたりする。			
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、アルファベットの小文字を識別する。			
	○Song Box で、“Today is Monday.”を歌う。			
	○Around the World で、ジャマイカ、ウガンダ、フィンランドの伝統や文化に基づいた授業についての動画(QR)を視聴する。			
	○Letter Box で、アルファベット順に文字をたどりゴールを目指す。			
	○Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ文の意味を考える。			
	○Sounds and Letters やLetter Box で、アルファベットの小文字に慣れ親しむ。			
	○CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。			

単元名	Let's Check ①		教科書ページ	pp.44-47
	Questions : 5年2組の仲間たち Let's Talk! : 先生と話をしよう。		配当時数	2時間
単元目標	<p>Questions : 相手のことをよく知るために、時間割や誕生日、好きなものやもっているものなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりすることができる。また、活字体の大文字を識別したり、書いたりすることができる。</p> <p>Let's Talk! : 互いのことをよく知るために、誕生日や好きな教科などについて、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p>			
主な言語材料	表現	Lesson 1～3で学習した内容		
	語句	Lesson 1～3で学習した内容		
関連する領域別目標	(1)聞くこと ア, イ / (2)読むこと ア / (3)話すこと [やり取り] イ, ウ / (5)書くこと ア			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>文字の読み方, We have ~ on ~., My birthday is ~., I like [have] ~. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。</p> <p><技能>時間割や誕生日や好きなものやもっているものなど, 具体的な情報を聞き取り, 文字の読み方が発音されるのを聞いたときにどの文字であるかがわかるための技能を身に付けている。</p>	登場人物のことをよく知るために, 好きなものなど, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
読むこと	<p><知識>活字体の大文字について理解している。</p> <p><技能>活字体の大文字を識別する技能を身に付けている。</p>	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
話すこと [やり取り]	<p><知識> これまでに学習した言語材料について理解している。</p> <p><技能> 誕生日や好きな教科などを表す語句や表現を用いて, 伝え合う技能を身に付けている。</p>	互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 尋ねたり答えたりして伝え合っている。	互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 尋ねたり答えたりして伝え

			合おうとしている。
書くこと	<p><知識>大文字の活字体を理解している。</p> <p><技能>大文字の活字体を書く技能を身に付けている。</p>	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。

Let's Talk! 教師用ルーブリック(評価基準例)

評価	観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(a)	既習表現を正しく用いて自分のことを話したり, ALTに質問したり答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 相手によくわかってもらえるように情報を加えて自分のことを話したり, ALTに関連した質問をしたり感想などを述べたり質問に答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 相手によくわかってもらえるように情報を加えて自分のことを話したり, ALTに関連した質問をしたり感想などを述べたり質問に答えたりしようとしている。
(b)	時折言いよどんだり, 語句や表現の一部に間違いはあるものの, 自分のことを話したり, ALTに質問したり答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 自分のことを話したり, ALTに質問をしたり答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 誕生日や好きな教科などについて, 自分のことを話したり, ALTに質問をしたり答えたりしようとしている。
(c)	上記に満たない状況	上記に満たない状況	上記に満たない状況

単元名	Lesson 4: I can draw pictures well.		教科書ページ	pp.50-59
	もっと自分を知ってもらおう。		配当時数	8 時間
単元目標	相手のことをよく知るために、できること、できないことについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたり、自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを含めて話したり、例文を参考に書いたりすることができる。			
主な言語材料	表現	I [You / He / She] can [can't] (play soccer)., Can you (play soccer)?, Yes, I can. / No, I can't.		
	語句	スポーツ / 楽器 / 動作など① / 遊び		
関連する領域別目標	(1)聞くこと イ, ウ / (4)話すこと [発表] イ / (5)書くこと ア, イ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉できること、できないことに関する語句やI [You / He / She] can [can't] ~ ., Can you ~ ? 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉できること、できないことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。</p>	相手のことをよく知るために、できること、できないことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりしている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
話すこと [発表]	<p>〈知識〉主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉自分や相手、第三者ができること、できないことなどについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができること、できないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができること、できないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	<p>〈知識〉主な語句や表現について理解している。</p> <p>〈技能〉自分や第三者のできること、できないことなどについて、主な言語材料を用いて書く技能を身に付けている。</p>	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆できること, できないことの言い方について理解することができる。				目標に向けた指導を行う。 Let's Watch and Think 1 や Let's Play 1 における児童の活動状況を見取り, 指導や学習改善に生かす。
	○教科書紙面を見ながら, Let's Watch and Think 1 を視聴し, 登場人物のできること, できないことなどについて聞き取り, 単元の学習の見通しをもつ。				
	○Follow Up で指導者の話を聞いたり, 指導者とやり取りしたりしながらターゲット・センテンスの言い方を知り, 単元のゴールを設定する。				
	○Let's Play 1 の「ポインティング・ゲーム」を通して動作の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 1 において, ベンのできる3つのことを聞き取る。				
	○Let's Try 1 を通して, 自分のできることを言う。				
2	◆できること, できないことについて, 尋ねたり答えたりすることができる。				目標に向けた指導を行う。 Let's Watch and Think 2 や Let's Try 2 における児童の活動状況を見取り, 指導や学習改善に生かす。
	○Small Talk で, 好きなスポーツについて, 指導者の話を聞いたり, 指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Let's Watch and Think 2 において, 田中先生とジャック先生のできることについて聞き取り, 内容を理解する。				
	○Let's Play 2 で「ビンゴ・ゲーム」を通して, 動作を表す言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 2 において, ベンや春陽, 秋太のできること, できないことを聞き取る。				
○Let's Try 2 を通して, ペアでできること, できないことを伝え合う。					
3	◆できること, できないことについて, 尋ねたり答えたりすることができる。				目標に向けた指導を行う。 Activity 1 や Let' Write 1 における児童の活動状況を見
	○Let's Play 3 で, できることについて尋ねる表現に慣れる。				
	○Activity 1 において, ペアの友達のできる				

	<p>こと，できないことを予想して尋ね合う。</p> <p>○Let's Listen and Read 1 を通して，夏輝ができることについて，音声を聞きながら文を指で追う。</p> <p>○Let's Write 1 で，自分のできることを1つ書く。</p> <p>○Sounds and Letters で，アルファベットの大文字を読んだり書いたりする。</p>				<p>取り，指導や学習改善に生かす。</p>
4	<p>◆登場人物の身近な人のできることなどについて聞き取ったり，友達のできること，できないことについて紹介したりすることができる。</p>				
	○Small Talk で，好きな教科について，指導者の話を聞いたり，指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Let's Watch and Think 3 で登場人物たちがインタビューをしている様子の動画を見て，わかったことを書く。				
	○Let's Play 4 で，写真の人物ができること，できないことを言う。				
	○Let's Listen 3 において，秋太たちが紹介する田中先生や夏輝，春陽のできること，できないことを聞き取り，線で結ぶ。	聞			◎主な言語材料などについて理解し，できること，できないことなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたりする技能を身に付けている。
	○Let's Try 3 で，ペアで友達のできること，できないことを紹介する。				
5	<p>◆相手のことをよく知るために，登場人物のできることなどについて聞き取ったり，身近な人のできること，できないことについて紹介したりすることができる。</p>				
	○Let's Listen 4 において，ジャック先生が紹介するベンや春陽，夏輝の中で，ポスター作りの条件に合っている人物を聞き取る。		聞		◎相手のことをよく知るために，できること，できないことなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたりしている。
	○Activity 2 において，グループの友達に，自分の身近な人のできること，できないことを紹介する。				

	○Let's Listen and Read 2 を通して、ベンが話す春陽のできること、できないことについて、音声を聞きながら文を指で追う。				
	○Let's Write 2 で、自分のできないことを1つ書く。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの 大文字を読んだり書いたりする。				
6	◆自分のできること、できないことについて話すことができる。				
	○Small Talk で、誕生日に欲しいものについて、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Let's Watch and Think 4 において、ソフィアとケビンの自己紹介を聞き取り、内容を理解する。				
	○Let's Try 4 で、自分のことをよく知ってもらうために、できること、できないことを考え、ペアで話す。	(発)			
	○Song Box で、“Punchinello”を歌う。				
7	◆自分のことをよく知ってもらうために、自分のできること、できないことについて発表したり、書いたりすることができる。				
	○Activity 3 において、友達が興味をもってくれるように工夫をしながら、自分のできること、できないことを発表する。	発	発	発	◎主な言語材料について理解し、自分や相手、第三者ができること、できないことなどについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ◎自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができること、できないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 ◎自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができること、できないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしてい

				る。
	○Let's Listen and Read 3 を通して、美冬ができることについて、音声を聞きながら、文を指で追う。			
	○Let's Write 3 で、自分のできること、できないことを1つずつ書く。	書		◎主な語句や表現について理解し、自分や第三者のできること、できないことなどについて、主な言語材料を用いて書く技能を身に付けている。
	○Sounds and Letters で、アルファベットの大文字を読んだり書いたりする。			
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、アルファベットの大文字の特徴を理解する。			
	○Around the World を見て、世界中で行われている、みんなのできるスポーツについて知る。			
	○Letter Box を通して、大文字の特徴を理解する。			
	○Story Time を通して、文字を指で追いながら読むことに親しみ、話の内容を楽しむ。			
	○CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。			

単元名	Lesson 5: Where is the station?		教科書ページ	pp.60-69
	マイタウンを作って案内しよう。		配当時数	8 時間
単元目標	相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、道順やお気に入りの理由などを伝え合ったりすることができる。			
主な言語材料	表現	Where is (the station)?, Go straight for one block [two blocks]., Turn right [left]., You can see it on your right [left]., It's on [in / under / by] (the park)., We have (a park) in our town. What is your favorite place?, My favorite place is [It's] (the library).		
	語句	建物など / 自然など / 道案内 / 位置 / 身の回りのもの		
関連する領域別目標	(1)聞くこと イ, ウ / (3)話すこと [やり取り] イ, ウ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉Where is ~ ?, Go straight for ~ block(s)., Turn right [left]., You can see it on your right [left]., It's on [in / under / by] ~ ., We have ~ in our town., What is your favorite place?, My favorite place is [It's] ~.及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉地域のお気に入りの場所について、主な言語材料を用いて、道順を伝え合う技能を身に付けている。</p>	互いのことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合っている。	互いのことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合おうとしている。

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆町にある施設や建物の言い方について理解することができる。				

	○教科書紙面や自分たちの地域の地図を見ながら、指導者の話を聞いたり、指導者とやり取りをしたりする。				目標に向けた指導を行う。 Let's Try 1 や Let's Play 1 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○ Let's Try 1 で、自分たちの地域にある施設や建物について言ってみる。				
	○ Let's Play 1 で、ビンゴ・ゲームを通して施設や建物の言い方に慣れる。				
	○ Let's Listen 1 で、施設や建物を聞き取る。				
	○ Let's Watch and Think 1 で、ベンがゲームで作った町について、登場人物の話を聞く。				
	○ Follow Up で話の概要を捉え、単元のゴールを設定する。				
	○ Sounds and Letters で、アルファベットの小文字を読んだり書いたりする。				
2	◆ものの位置を表す表現について理解することができる。				目標に向けた指導を行う。 Let's Listen 2 や Let's Try 2 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○ Small Talk で、学校の好きな場所について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○教科書pp.60-61のイラストにあるものや身の回りにあるものの位置について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○ Let's Play 2 で、指示を聞いてものの位置を変える。				
	○ Let's Listen 2 で、ものの位置について聞き取る。				
	○ Chant Box で、“Where is your school bag?” を言う。				
	○ Let's Try 2 で、自分で作った部屋にあるものの位置について話す。				
	○ Song Box で、“On, In, Under, By” Song を歌う。				
3	◆町にある施設や建物、それがあある場所について、尋ねたり答えたりすることができる。				目標に向けた指導を行う。 Activity 1 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○ Let's Play 3 で、地図記号で表された施設や建物がある場所について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				

	○Activity 1 で、自分の町を作り、ペアでそれぞれの町にある施設や建物、それがあ る場所について、尋ねたり答えたりする。				
	○Let's Listen and Read 1 を行う。				
	○Let's Write 1 を行う。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの 小文字を読んだり書いたりする。				
4	◆相手のマイタウンにある施設や建物について、道案内を聞いたり、道順を尋ねたり答えたり することができる。				
	○Small Talk で、好きな秋の食べ物とそれ を食べたり買ったりすることができる施設 や建物について、指導者の道案内を聞いた り道案内をしたりする。				
	○Let's Watch and Think 2 で、登場人物の 道案内を聞く。				
	○Let's Play 4 で、サイモン・セズ・ゲーム を通して道案内の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 3 で、登場人物の道案内を聞 く。	(聞)			
	○Let's Try 3 で、マイタウンについて、ペ アで駅から自分の家までの道案内をし合 う。	(や)			
5	◆マイタウンのお気に入りの場所について、道順を尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Chant Box で、“Where is the pizza shop?” を言う。				
	○Let's Play 5 で、道案内やそこでできるこ となどを聞いて、どの施設や建物について 話しているかを考える。				
	○Activity 2 で、マイタウンのお気に入りの 場所について、グループで道案内をし合 う。	や			◎主な言語材料について理 解し、地域のお気に入りの 場所について、主な言語材 料を用いて、道順を伝え合 う技能を身に付けている。
	○Let's Listen and Read 2 を行う。				
	○Let's Write 2 を行う。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの 小文字を読んだり書いたりする。				
6	◆相手のことをよく知るために道案内を聞いたり、互いのことをよく知るために、マイタウン				

	のお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。				
	○Small Talk で、学校の施設について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Chant Box で、“Where is the pizza shop?”を言う。				
	○Let's Listen 4 で、登場人物によるお気に入りの場所への道案内を聞く。	聞	聞	聞	◎主な言語材料などについて理解し、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ◎相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取っている。 ◎相手のことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取ろうとしている。
	○指導者が自分の好きな場所について、気持ちや考えを含めて話すのを聞く。				
	○自分のお気に入りの場所について、その理由を表す表現を考える。				
	○Let's Try 4 で、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合う。	や			◎主な言語材料について理解し、地域のお気に入りの場所について、主な言語材料を用いて、道順を伝え合う技能を身に付けている。
7	◆互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。				
	○Chant Box で、“Where is the pizza shop?”を言う。				
	○Activity 3 では、全体やグループで、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え	や	や	や	◎主な言語材料について理解し、地域のお気に入りの場所について、主な言語材料を用いて、道順を伝え合

	合う。				う技能を身に付けている。 ◎互いのことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合っている。 ◎互いのことをよく知るために、地域のお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを伝え合おうとしている。
	○Let's Listen and Read 3 を行う。				
	○Let's Write 3 を行う。				
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、アルファベットの小文字を書く。				
	○Song Box で、"Hark! Hark! The dogs do bark.", "On, In, Under, By" Song を歌う。				
	○Around the World の動画を視聴する。				
	○Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ文の意味を考える。				
	○Sounds and Letters(p.117)やLetter Box で、アルファベット(小文字)の学習のまとめをする。				
	○CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。				

単元名	Lesson 6: What would you like?		教科書ページ	pp.70-79
	ランチメニューを考えて注文しよう。		配当時間数	8 時間
単元目標	レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取ったり、丁寧な言い方で伝え合ったりすることができる。			
主な言語材料	表現	May I help you?, What would you like?, I'd like (a hamburger)., How much is it?, It's (500) yen., It's (delicious)., What's this?, It's (pho)., It's (rice noodles).		
	語句	食べ物 / 味など / 数		
関連する領域別目標	(1)聞くこと イ, ウ / (3)話すこと [やり取り] ア, ウ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 What would you like?, I'd like ~., How much is it?, It's ~ yen., It's ~. 及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p>
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉 主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉 料理やその値段, 味などについて, 主な言語材料を用いて, 丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 丁寧な言い方で伝え合っている。</p>	<p>レストランなどで注文するという目的に応じて, 料理やその値段, 味などについて, 丁寧な言い方で伝え合おうとしている。</p>

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆食べ物や飲み物の言い方を理解することができる。				目標に向けた指導を行う。 児童の活動状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 1 で, 食べ物や飲み物について, 登場人物の話を視聴する。				
	○Follow Up で話の概要を捉え, 単元のゴールを共有する。				
	○Let's Play 1 で, 料理の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 1 で, 登場人物の食べたいもの				

	を聞き取る。				
	○Let's Try 1 で、自分が食べたいものを言う。				
	○Sounds and Letters で大文字に対応する小文字を書く。				
2	◆丁寧な言い方で注文を聞き取ったり、丁寧な言い方で注文したりすることができる。				
	○Small Talk で、好きな季節について指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				目標に向けた指導を行う。 児童の活動状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 2 で、登場人物と店員とのやり取りを視聴する。				
	○Let's Play 2 で、食べ物の味の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 2 で、登場人物が注文した食べ物を聞き取る。				
	○Let's Try 2 で、自分が注文したい食べ物を選んで言う。				
3	◆丁寧な言い方で食べ物や飲み物を注文したり、注文を尋ねたりすることができる。				
	○Let's Play 3 で、食べ物の言い方に慣れる。				目標に向けた指導を行う。 児童の活動状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Activity 1 で、店員と客になりきって、注文を尋ねたり注文をしたりする。				
	○Let's Listen and Read 1 で教科書の英文を指で追う。				
	○Let's Write 1 で自分が注文したい料理を書く。				
	○Sounds and Letters で大文字に対応する小文字を書く。				
4	◆料理の値段について、聞き取ったり尋ね合ったりすることができる。				
	○Small Talk で、身の回りのものの数について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				目標に向けた指導を行う。 児童の活動状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 3 で、料理の値段や味についての登場人物の話を視聴する。				
	○Let's Play 4 で、数や値段の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 3 で、料理の値段を聞き取る。				

	○Let's Try 3 で、グループで料理の値段を尋ね合う。				
5	◆相手のことをよく知るために、注文した料理とその理由、味や値段などについて聞き取ったり、尋ねたり答えたりすることができる。				
	○Let's Listen 4 で、登場人物の注文した料理とその理由を聞き取る。	聞	聞	聞	◎主な言語材料などについて理解し、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 ◎レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取っている。 ◎レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
	○Activity 2 で、グループで料理やその味、値段などを尋ねたり答えたり、紹介したりする。	や			◎主な言語材料について理解し、料理やその値段、味などについて、主な言語材料を用いて、丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。
	○Let's Listen and Read 2 で教科書の英文を指で追う。				
	○Let's Write 2 で値段を尋ねる表現を書きましょう。 ○Sounds and Letters(p.118)で大文字に対応する小文字を書く。				
6	◆料理とその値段について聞き取ったり、ランチメニューを考えて注文したりすることができる。				
	○Small Talk で、好きな野菜について、指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。 ○Let's Listen 5 で、料理の値段と、登場人物が注文した料理について聞き取る。	聞			◎主な言語材料などについて理解し、料理やその値段、味などについて、具体

					的な情報を聞き取る技能を身に付けている。
	○Let's Try 4で、互いのことをよく知るために、自分で決めたランチメニューのテーマに沿った料理を注文したり、それに答えたりして伝え合う。				
7	◆身近な人のためにランチメニューのテーマを考え、食べ物や飲み物を注文したり、それに答えたり、メニューを紹介したりして、伝え合うことができる。				
	○Activity 3 で、身近な人のために決めたランチメニューのテーマに沿った料理を注文したり、注文を尋ねたり、料理を紹介する。	や	や	や	◎主な言語材料について理解し、料理やその値段、味などについて、主な言語材料を用いて、丁寧な言い方で伝え合う技能を身に付けている。 ◎レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、丁寧な言い方で伝え合っている。 ◎レストランなどで注文するという目的に応じて、料理やその値段、味などについて、丁寧な言い方で伝え合おうとしている。
	○Let's Write 3 で、相手の名前と注文したものを書く。				
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、英語の文字の音について知る。				
	○Song Box で、“What would you like?”を歌う。				
	○Around the World の動画を視聴する。				
	○Letter Box で、アルファベットの大文字・小文字の学習のまとめをする。				
	○Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読む。				
	○CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。				

単元名	Let's Check ②		教科書ページ	pp.80-83
	Questions : 太陽小学校の先生たち Let's Talk! : 先生と話をしよう。		配当時数	2 時間
単元目標	<p>Questions:相手のことをよく知るために、できることやできないことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話を聞いて概要を捉えたりすることができる。また、レストランで注文するという場面に応じて、短い話を聞いて概要を捉えることができる。また、活字体で書かれた小文字を識別し、読み方がわかったり、書いたりすることができる。</p> <p>Let's Talk! : 互いのことをよく知るために、できることや好きなもの、住んでいる町のことなどについて、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p>			
主な 言語 材料	表現	Lesson 4～6で学習した内容		
	語句	Lesson 4～6 で学習した内容		
関連する 領域別目標	(1)聞くこと ア, イ, ウ / (2)読むこと ア / (3)話すこと [やり取り] イ, ウ / (5)書くこと ア			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉文字の読み方、I [You/He / She] can [can't] ～ ., Where is ～ ?, Go straight for ～ block(s)., Turn right [left]., You can see it on your right [left]., What would you like?, I'd like ～., How much is it?, It's ～ yen., It's ～. 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉登場人物のできること、できないことなど、具体的な情報を聞き取り、文字の読み方が発音されるのを聞いたときにどの文字であるかがわかるための技能を身に付けている。</p>	登場人物のことをよく知るために、第三者ができることについて具体的な情報を聞き取ったり、レストランでどのような会話をしているかを知るために、短い話を聞いて概要を捉えたりしている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
読むこと	<p>〈知識〉活字体の小文字について理解している。</p> <p>〈技能〉活字体の小文字を識別する技能を身に付けている。</p>	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
話すこと	〈知識〉これまでに学習した言語	互いの意外な一面を知った	互いの意外な一

【やり取り】	材料について理解している。 〈技能〉自分や相手のことなどについて、これまでに学習した言語材料を用いて、尋ねたり答えたりして伝え合う技能を身に付けている。	り知ってもらったりするために、できることや好きなもの、住んでいる町のことなどについて、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	面を知ったり知ってもらったりするために、できることや好きなもの、住んでいる町のことなどについて、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
書くこと	〈知識〉小文字の活字体を理解している。 〈技能〉小文字の活字体を書く技能を身に付けている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。

Let's Talk! 教師用ルーブリック(評価基準例)

評価	観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(a)	既習表現を正しく用いて自分のことを話したり、ALTに質問したり答えたりしている。	互いの意外な一面をよく知ったり、知ってもらったりするために、できることや住んでいる町のことなどについて、相手によくわかってもらえるように情報を加えて自分のことを話したり、ALTに関連した質問をしたり感想などを述べたり、質問に答えたりしている。	互いの意外な一面をよく知ったり、知ってもらったりするために、できることや住んでいる町のことなどについて、相手によくわかってもらえるように情報を加えて自分のことを話したり、ALTに関連した質問をしたり感想などを述べたり、質問に答えたりしようとしている。
(b)	時折言いよどんだり、語句や表現の一部に間違いはあるものの、自分のことを話したり、ALTに質問したり答えたりしている。	互いの意外な一面をよく知ったり、知ってもらったりするために、できることや住んでいる町のことなどについて、自分のことを話したり、ALTに質問をしたり答えたりしている。	互いの意外な一面をよく知ったり、知ってもらったりするために、できることや住んでいる町のことなどについて、自分のことを話したり、ALTに質問をしたり答えたりしている。
(c)	上記に満たない状況	上記に満たない状況	上記に満たない状況

単元名	Lesson 7: I love my town.		教科書ページ	pp.86-95
	「町のすてきなところ」をしょうかいしよう。		配当時数	8 時間
単元目標	自分たちの住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所について、自分の考えや気持ちなどを含めて話したり、例文を参考に書いたりすることができる。また、地域について書かれたものを読んで意味がわかる。			
主な言語材料	表現	I love my town., My favorite place is (the amusement park)., We have [don't have] (a park)., We can (enjoy watching soccer games). It's (beautiful).		
	語句	すること/したこと / 建物など / 状態など / 様子など		
関連する領域別目標	(2)読むこと イ / (3)話すこと [発表] ウ / (5)書くこと イ			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<p>〈知識〉 My favorite place is ～ ., We have ～ ., We can enjoy ～ ., It's ～ . 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉自分たちが住む地域について書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けている。</p>	※本単元では記録に残す評価は行わない。	※本単元では記録に残す評価は行わない。
話すこと [発表]	<p>〈知識〉主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	<p>〈知識〉主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。</p>	自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて書いている。	※本単元では記録に残す評価は行わない。

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価
---	--------------------	----

		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆町にある施設や場所、名産などの言い方を知ることができる。				
	○Let's Watch and Think 1 で、登場人物の町にある施設や場所について聞き取る。				目標に向けた指導を行う。 児童の学習状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Follow Up で、登場人物の話の概要を確認し、単元のゴールを設定する。				
	○Let's Play 1 で、「ポインティング・ゲーム」を通して、地域にある施設や場所の表現に慣れ親しむ。				
	○Let's Listen 1 で、施設や場所の表現を聞き取る。				
	○Let's Try 1 で、町にある自分の好きな施設や場所、名産などを伝える。				
○Sounds and Letters で、アルファベットの大文字と小文字を区別して4線に正しく書く。					
2	◆町にある施設や場所、名産について、様子などを伝えることができる。				
	○Small Talk で、好きな教科について、指導者の話を聞いたりやり取りしたりする。				目標に向けた指導を行う。 児童の学習状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 2 で、ベンや春陽たちの話(Let's Watch and Think 1)を再度視聴し、町のおすすめの場所やその理由について聞き取る。				
	○Let's Play 2 で、ジェスチャーでの伝え合いを通して、状態や特徴を表す表現を理解する。				
	○Let's Listen 2 で、春陽の町紹介を聞いて、施設の名前やその様子について聞き取る。				
○Let's Try 2 で、ペアで自分たちの町の施設やその様子について伝え合う。					
3	◆町にあるすてきな施設や場所の様子などを伝え合うことができる。				
	○Let's Play 3 で、クイズを通して、施設や様子を表す表現に慣れ親しむ。				目標に向けた指導を行う。 児童の学習状況を見取り、 指導や学習改善に生かす。
	○Activity 1 で、クイズ形式で「町のすてきなところ」を紹介しながら、様子や特徴、その場所でできることなどを伝える。				
○Let's Listen and Read 1 で、春陽の町の紹					

	介を聞きながら、文字を指で追う。				
	○Let's Write 1 で、自分たちの町にあるすてきな施設や場所を書く。				
	○Sounds and Letters で、アルファベットの大文字と小文字を区別して4線に正しく書く。				
4	◆海外の町や自分たちの町でできることを、聞いたり話したりすることができる。				
	○Small Talk で、「できること・できないこと」について、指導者の話を聞いたりやり取りしたりする。				
	○Let's Watch and Think 3 で、外国の町紹介の動画を視聴し、行きたい国を選び、理由を書く。				
	○Let's Play 4 で、「ぴったりゲーム」を通して、場所や施設やその様子についての表現に慣れ親しむ。				
	○Let's Listen 3 で、ペンの町紹介から、町にある施設や様子を聞き取る。	(聞)			
	○Let's Try 3 で、ペアで自分の町でできることや様子を伝え合う。				
5	◆自分が考える「町のすてきなところ」について話すことができる。				
	○Let's Play 5 で、「観光案内ゲーム」を通して自分の住んでいる地域を紹介する。				
	○Activity 2 で、「町のすてきなところ」について話す。	発			◎主な言語材料について理解し、自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。
	○Let's Listen and Read 2 で、秋太の町紹介を聞きながら、文字を指で追う。				
	○Let's Write 2 で、自分たちの町でできることを書く。	(書)			
	○Sounds and Letters で、アルファベットの大文字と小文字を区別して4線に正しく書く。				
6	◆町の見どころについてのポスターを読んだり、発表する内容を整理したりすることができる。				

	○Small Talk で、「できること・できないこと」について、指導者の話を聞いたりやり取りしたりする。				
	○Let's Read 1 で、読んでわかったことを書く。	読			◎主な言語材料などについて理解し、自分たちが住む地域について書かれたものを読んで意味がわかるために必要な技能を身に付けている。
	○Let's Try 4 で、住んでいる地域のよさについて伝える内容を整理する。				
	○Let's Try 4 で、グループで地域のよさが伝わるように内容を整理し、よく知ってもらうための工夫をしながら発表の練習をする。	(発)	(発)	(発)	
7	◆自分たちの住んでいる地域のすてきなところを知ってもらうために、地域の施設やそこできることなどについて発表することができる。				
	○Activity 3 で、自分たちの住んでいる地域のすてきなところを知ってもらうために、地域の施設やできることなどについて発表する。	発	発	発	◎主な言語材料について理解し、自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ◎自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 ◎自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
	○Let's Write 3 で、「町のすてきなところ」のポスターを完成させる。	書	書		◎主な言語材料について理解し、自分たちが住む地域について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。

					◎自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所などについて自分の考えや気持ちなどを含めて書いている。
	○ Sounds and Letters で、アルファベットの大文字と小文字を区別して4線に正しく書く。				
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、アルファベットの読み方を聞いて活字体の大文字を書く。				
	○ Song Box で、“I love my town.”を歌う。				
	○ Around the World で、ボリビア、アラブ首長国連邦、アメリカ合衆国の紹介動画を視聴し、それぞれの国の施設やそこでできることなど、地域のよさを聞き取る。				
	○ Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ文を読み、意味を考える。				
	○ Letter Box で、アルファベットの読み方を聞いて、アルファベットの大文字を書く。				
	○ CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。				

単元名		Lesson 8: My Hero クラスのみんなの「ヒーロー図かん」を作ろう。	教科書ページ	pp.96-105
			配当時数	8 時間
単元目標		互いの憧れの人や尊敬する人についてよく知ったり知ってもらったりするために、得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えたり、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。また、例文を参考に書いたりすることができる。		
主な 言語 材料	表現	Who is your hero?, My hero is (Ohtani Shohei)., He [She] is (a baseball player)., He [She] is good at (playing baseball), He [She] is (nice).		
	語句	動作など① / 職業 / 家族・人 / 性格など		
関連する 領域別目標		(1)聞くこと イ, ウ / (4)話すこと [発表] イ / (5)書くこと ア, イ		

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 Who is your hero?, My hero is ~ ., He [She] is ~ ., He [She] is good at ~ ., He [She] is ~ . 及びその関連語句(以下、主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 憧れる人や尊敬する人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>相手や相手の憧れる人や尊敬する人のことをよく知るために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えている。</p>	<p>相手や相手の憧れる人や尊敬する人のことをよく知るために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えようとしている。</p>
話すこと [発表]	<p>〈知識〉 主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉 憧れる人や尊敬する人が得意なことやできることなどについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	<p>憧れる人や尊敬する人のことをよく知ってもらうために、その人が得意なことやできることなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p>	<p>憧れる人や尊敬する人のことをよく知ってもらうために、その人が得意なことやできることなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>
書くこと	<p>〈知識〉 主な言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉 憧れる人や尊敬する人について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能</p>	<p>憧れる人や尊敬する人についてよく知ってもらうために、その人が得意なことやできること、人柄な</p>	<p>憧れる人や尊敬する人についてよく知ってもらうために、その人が得意なことやできること、人柄な</p>

	を身に付けている。	どについて、自分の考えや気持ちなどを含めて書いている。	どについて、自分の考えや気持ちなどを含めて書こうとしている。
--	-----------	-----------------------------	--------------------------------

単元計画例

時	目標 (◆) と主な学習活動 (○)	評価			
		知	思	態	評価規準 (◎)
1	◆得意なことの言い方を理解することができる。				目標に向けた指導を行う。 Let's Watch and Think 1 や Let's Play 1 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Watch and Think 1 で、アメリカに帰ったベンのおじいさん、おばあさんからの動画についての話を視聴する。				
	○Follow Up で話の概要を捉え、単元のゴールを共有する。				
	○Let's Play 1 で、様々な動作の言い方に慣れる。				
	○Let's Listen 1 で、ベンたちのヒーローの得意なことについて聞く。				
	○Let's Try 1 で、自分の得意なことを言う。				
2	◆自分の得意なことについて尋ねたり答えたりすることができる。				目標に向けた指導を行う。 Let's Watch and Think 2 や Let's Play 2 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Small Talk で、好きなスポーツについて指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Let's Watch and Think 2 で、美冬とベンの得意なことと得意ではないことについての話を視聴する。				
	○Let's Play 2 で、ある動作が得意かどうかを表す表現に慣れる。				
	○Let's Listen 2 で、ソフィア、ケビン、ジャック先生の得意なことを聞き取る。				
	○Let's Try 2 で、得意なことをペアで尋ねたり答えたりする。				
3	◆自分にとってのヒーローができることや得意なことを伝え合うことができる。				目標に向けた指導を行う。 Activity 1 や Let's Write 1 に
	○Let's Play 3 で、身近な人や職業などの言い方や、heやsheを使って得意なことを表				

	す表現に慣れる。				おける児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Activity 1 で、自分にとってのヒーローが得意なことやできることを紹介する。				
	○Let's Listen and Read 1 を通して、ベンが話す自分のヒーローについて、内容を聞きながら文を指で追う。				
	○Let's Write 1 で、自分のヒーローとそれができることや得意なことを書く。				
	○Sounds and Letters で、音の特徴について考える(dog, jog, frog)。				
4	◆得意なことや人柄を聞き取ったり、身近な人の得意なことや人柄、職業などについて話したりすることができる。				
	○Small Talk で、身近な人のできることについての話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				
	○Let's Watch and Think 3 で、外国の子どもたちが自分のヒーローを紹介している動画を見る。				
	○Let's Play 4 で、人柄を表す表現に慣れる。				
	○Let's Listen 3 で、夏輝、秋太、美冬の家族の紹介を聞き、それぞれが得意なことや人柄について聞き取る。	聞			◎主な言語材料などについて理解し、憧れる人や尊敬する人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉える技能を身に付けている。
	○Let's Try 3 で、友達や身近な人をペアで紹介する。				
5	◆相手のことについてよく知るために、得意なことや人柄などを聞き取ったり、自分のヒーローについて話したり書いたりすることができる。				
	○Let's Listen 4 で、ベンがお世話になった6年生に送る感謝のメッセージカードについて聞き取る。		聞	聞	◎相手や相手の憧れる人や尊敬する人のことをよく知るために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えている。 ◎相手や相手の憧れる人や

					尊敬する人のことをよく知るために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、短い話を聞いて概要を捉えようとしている。
	○Activity 2 で、グループで自分のヒーローをクイズ形式で紹介し合う。				
	○Let's Listen and Read 2 を通して、春陽が話す自分のヒーローについて、内容を聞きながら文を指で追う。				
	○Let's Write 2 で自分たちの町でできることを書く。				
	○Sounds and Letters で、音の特徴について考える(map, cap, clap)。				
6	◆登場人物のヒーローの紹介文を読んだり、自分のヒーローについて内容を整理して話したりすることができる。				
	○Small Talk で、好きなキャラクターについて指導者の話を聞いたり、指導者や友達とやり取りしたりする。				目標に向けた指導を行う。 Let's Try 4 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に生かす。
	○Let's Read 1 で、秋太が自分のヒーローについて書いたシートを読んでわかったことを書く。				
	○Let's Try 4 で、自分のことをよく知ってもらうために、自分のヒーローについてペアで紹介する。				
	○Song Box で、“My Hero”を歌う。				
7	◆自分のことをよく知ってもらうために、自分のヒーローについて発表したり、「ヒーロー図鑑」を作るために内容を整理して書いたりすることができる。				
	○Activity 3 で、自分のことをよく知ってもらうために、自分のヒーローについて発表する。	発	発	発	◎主な言語材料について理解し、憧れる人や尊敬する人が得意なことやできることなどについて、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。 ◎憧れる人や尊敬する人のことをよく知ってもらうために、その人が得意なこと

				<p>やできることなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p> <p>◎憧れる人や尊敬する人のことをよく知ってもらうために、その人が得意なことやできることなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>	
	○Let's Write 3 で、「ヒーロー図鑑」を作るために、自分のヒーローについて書く。	書	書	書	<p>◎主な言語材料について理解し、憧れる人や尊敬する人について、主な言語材料を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて書く技能を身に付けている。</p> <p>◎憧れる人や尊敬する人についてよく知ってもらうために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて書いている。</p> <p>◎憧れる人や尊敬する人についてよく知ってもらうために、その人が得意なことやできること、人柄などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて書こうとしている。</p>
	○Sounds and Letters で、音の特徴について考える(pig, dig, dog, top)。				
8	◆単元で学習したことを生かして、話を聞いたり読んだりする。また、英語のリズムや文字の音について考える。				
	○Around the World を見て、モンゴル、セルビア、ブラジルの子どもたちの得意なことを確認する。				
	○Sound Box で文字の音とリズムを楽しむ				

	む。				
	○ Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を読む。				
	○ CAN-DO チェックを行い、単元の学習を振り返る。				

単元名	Let's Check ③		教科書ページ	pp.106-109
	Questions : ミーナ先生, ありがとう Let's Talk! : 先生と話をしよう。		配当時数	2 時間
単元目標	<p>Questions : 相手のことをよく知るために, 地域でできることやその様子, 尊敬する人の得意なことや好きなことなどについて, 具体的な情報を聞き取ったり, 話の概要を捉えたりすることができる。また, 活字体の大文字と小文字を書くことができる。</p> <p>Let's Talk! : 互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p>			
主な言語材料	表現	これまで学習した内容		
	語句	これまで学習した内容		
関連する領域別目標	(1)聞くこと イ, ウ / (3)話すこと [やり取り] イ, ウ / (5)書くこと ア			

評価規準例

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 We have ~ ., We can enjoy ~ ., It's ~ ., He [She] is ~ ., He [She] is good at ~ ., He [She] is ~ ., What would you like?, I'd like ~ .及びその関連語句(以下, 主な言語材料)などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 地域でできることやその様子, 登場人物の憧れの人の得意なことや好きなことなど, 具体的な情報を聞き取るための技能を身に付けている。</p>	登場人物のことをよく知ったり, 登場人物への返事の内容を知るために, 具体的な情報を聞き取ったり, 短い話を聞いて概要を捉えたりしている。	※本單元では記録に残す評価は行わない。
話すこと [やり取り]	<p>〈知識〉 これまでに学習した言語材料について理解している。</p> <p>〈技能〉 自分や相手のことなどについて, これまでに学習した言語材料を用いて, 自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合う技能を身に付けている。</p>	互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 尋ねたり答えたりして伝え合っている。	互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
書くこと	〈知識〉 大文字, 小文字の活字体を	※本單元では記録に残す評	※本單元では記

	理解している。 〈技能〉大文字, 小文字の活字体を 書く技能を身に付けている。	価は行わない。	録に残す評価は 行わない。
--	---	---------	------------------

Let's Talk! 教師用ルーブリック(評価基準例)

評価	観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(a)	既習表現を正しく用いて自分のことを話したり, ALTに質問したり答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 相手によくわかるように情報を加えて自分のことを話したり, ALTに関連した質問をしたり感想などを述べたり, 答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 相手によくわかるように情報を加えて自分のことを話したり, ALTに関連した質問をしたり感想などを述べたり, 答えたりしようとしている。
(b)	時折言いよどんだり, 語句や表現の一部に間違いはあるものの, 自分のことを話したり, ALTに質問したり答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 自分のことを話したり, ALTに質問をしたり答えたりしている。	互いのことをよく知るために, 得意なことや自分の住む町などについて, 自分のことを話したり, ALTに質問をしたり答えたりしようとしている。
(c)	上記に満たない状況	上記に満たない状況	上記に満たない状況

令和6年度 NEW HORIZON Elementary
(第6学年)

▶ 単元概要

単元名	Unit 1 This is me!		教科書ページ	pp.6-15
			配当時間	8時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などについて、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、好きなものや宝物などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	4~5月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【好きなもの】 What ... do you like? / I like 【宝物】 What is your treasure? / My treasure is / It's from 【その他】 I'm from / I'm good at / Any questions?			
主な語彙	遊び / スポーツ / 身の回りのもの / 人 / 家族 など	場面	教室 / 転校生の自己紹介	
働き・機能	発表する、紹介する、説明する、質問する、答える			
工夫(ストラテジー)	発表している人に質問する			

▶ 評価規準例 Unit 1 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.85 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話(発表) = 話すこと(発表) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価
Starting Out (第1時) ※好きなものや宝物などについてのやり取りの概要を捉える。				
1	6 ~ 7	展開 (20分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.14) の「Bb の音」/ Let's Sing (歌) "Hello, everyone." / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、自分の名前を書く。
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	本時では目標に向けて指導は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
Starting Out (第2時) ※好きなものや宝物などについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。				
2	6 ~ 7	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.14) の「Cc の音」/ Small Talk "Do you have a dog?" / 目標の確認
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。
		Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	本時では目標に向けて指導は行わない。 【※1】を参照		
Your Turn (第3時) ※好きなものについて、友達と紹介し合ったり書いたりする。				
3	8	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.14) の「Dd の音」/ 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1 : 聞

	9	展開 (30分)	Let's Watch 1	自己紹介の内容や、好きなものの伝え方を確認する。	くこと / ●知・技 [知] I like ... や My treasure is ... およびその関連語句について理解している。 [技] 好きなものや宝物とその理由などについてのやり取りや短い話を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。	
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、好きなものを聞き取る。		
			Let's Chant	"My treasure is this ball."		
			Let's Try 1	ペアで好きなものなどをたずね合う。		
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、好きなことを書く。		
まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。			
Your Turn (第4時) ※宝物とその理由について、友達と紹介し合ったり書いたりする。						
4	8 ~ 9	展開 (25分)	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.14) の「Ff の音」/ Small Talk "What sport do you like?" / 目標の確認	Let's Listen 2・Let's Try 2 : 聞くこと / ●知・技
			Let's Watch 2	宝物やその理由の伝え方を確認する。	[知] 【I like ... や My treasure is ...	およびその関連語句]について理解している。 [技] 好きなものや宝物とその理由などについてのやり取りや短い話を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、宝物と、それをくれた人を聞き取る。		
			Let's Chant	"My treasure is this ball."		
			Let's Try 2	宝物とその理由をペアでたずね合う。		
Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、自分の宝物を書く。					
まとめ (5分)			p.9の「ふり返り」を確認する。			
Enjoy Communication (第5時) ※好きなものや宝物などについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。						
5	10 ~ 11	展開 (55分)	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.15) の「Gg の音」 / Small Talk "What is your treasure?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (発表) / ●知・技
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	[知] 【同上】について理解している。	[技] 好きなものや宝物とその理由などについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、好きなものや宝物とその理由などについてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。
			Let's Chant	"My treasure is this ball."		
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に考えを記入したり、「宝物紹介カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・ペアで発表とその後のやり取りの練習をし、内容面や態度面の改善をする。		
まとめ (5分)			p.11の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。			
Enjoy Communication (第6時) ※お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などを紹介し合う。						
6	10 ~ 11	展開 (30分)	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.15) の「Review ①」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (発表) / ◆思・判・表
			Let's Chant	"My treasure is this ball." で重要表現の口慣らしをする。	《自分のことを伝えるために、好きなものや宝物とその理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal : 話 (発表) / ★態度 《同上》話そうとしている。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、好きなものや宝物などを紹介する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、発表したことを1文書く。		
まとめ (5分)			p.11の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43)を確認する。			
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の子供たちの大切なものなどについて考え、世界の文化に対する理解を深める。						
7	12 ~	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.15) の「Aa の音」 / Small Talk "What country do you like?" / 目標の確認		本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行	

	13	展開 (25分)	文化探検	映像を見て、世界の子供たちの大切なものやその理由を考える。	わない。 【※1】を参照
				フカボリ！：映像を見て、日本の支援で途上国に建てられた施設について知り、日本と世界の関係について考える。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	12 ~ 13	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.15) の「聞いてみよう①」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (30分)	世界探検	カナダの子供が話す映像を見て、好きなものやカナダの名物や名所を知る。	
			物語探検	少年とネコの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)		p.13の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。	
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や世界探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。					

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 2 My Daily Schedule		教科書ページ	pp.16-25
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いの生活をよく知るために、日常生活について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、週末の過ごし方について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	5~6 月
			関連の他教科	家庭
主な表現	【日常生活（過ごし方）】 What time do you (usually) ...? / I (usually) (動作) at (時刻). 【日常生活（頻度）】 I usually [always/sometimes/never] 【その他】 Oh, you have / Lucky you! / This is my weekend schedule.			
主な語彙	一日の生活 / 頻度 / 数 など	場面	教室 / オンライン会話	
働き・機能	発表する、説明する、質問する、答える			
工夫(ストラテジー)	発表したあとに内容を加える			

▶ 評価規準例 Unit 2 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.103 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話（発表）＝話すこと（発表） / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※日常生活についてのやり取りの概要を捉える。					
1	16 ~ 17	展開 (30分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.24) の「Hh の音」 / Let's Sing (歌) "It's Sunday!" / Small Talk "What time is it in New York?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行わすが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、週末にいつもすることを書く。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第2時) ※日常生活についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	16 ~ 17	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.24) の「Jj の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わすが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
		Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第3時) ※週末の過ごし方について、友達と紹介し合ったり書いたりする。					
3	18 ~ 19	展開	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.24) の「Ll の音」 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1 : 聞くこと / ●知・技 知 I always や I usually、I sometimes およびその関連語
			Let's Watch	日常生活についてのたずね方や伝え方を確認する。	
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、日曜日の過ごし方を聞き取る。	

		Let's Chant	"Tell me about your daily schedule."	句について理解している。 [技] 一日の生活についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。	
		Let's Try 1	3つの行動について、週末の何時にするのかをペアでたずね合う。		
		Let's Read and Write	例文の音声聞いて読み、週末にたいしていることを書く。		
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Your Turn (第4時) ※日常生活について、友達と紹介し合ったり書いたりする。					
4	18 ~ 19	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.24) の「Mm の音」 / Small Talk "What time do you get up?" / 目標の確認	Let's Listen 2・Let's Try 2 : 聞くこと / ●知・技
		展開 (25分)	Let's Listen 2	やり取りを聞いて、家事をする頻度について聞き取る。	[知] 【I always や I usually、I sometimes およびその関連語句】について理解している。
			Let's Chant	"Tell me about your daily schedule."	[技] 一日の生活についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Try 2	ふだんの生活でしていることの頻度をペアで紹介し合う。	
		Let's Read and Write	例文の音声聞いて読み、週末にときどきすることを書く。		
まとめ (5分)	p.19の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※日常生活について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。					
5	20 ~ 21	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.25) の「Nn の音」 / Small Talk "What time do you go to bed?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (発表) / ●知・技
		展開 (25分)	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	[知] 【同上】について理解している。
			Let's Chant	"Tell me about your daily schedule."	[技] 一日の生活について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
		Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報を記入したり、「週末の過ごし方カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・ペアで発表とその後のやり取りの練習をし、内容面や態度面の改善をする。	Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、一日の生活について、短い話ややり取りを聞いて概要を捉えている。	
まとめ (5分)	p.21の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。				
Enjoy Communication (第6時) ※お互いの生活をよく知るために、週末の過ごし方を紹介し合う。					
6	20 ~ 21	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.25) の「Review ②」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (発表) / ◆思・判・表
		展開 (30分)	Let's Chant	"Tell me about your daily schedule." で重要表現の口慣らしをする。	《自分のことを伝えるために、一日の生活について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、週末の過ごし方を紹介する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、発表したことを1文書く。	Your Goal : 話 (発表) / ★態度 《同上》話そうとしている。
まとめ (5分)	p.21の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43) を確認する。				
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の学校や子供たちの生活などについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	22 ~ 23	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.25) の「Oo の音」 / Small Talk "Tell me about your daily schedule." / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わぬが、記録に残す評価は行わない。
		展開 (25分)	文化探検	映像を見てアメリカの小学生の一日の過ごし方について知り、自分の学校生活との違いを考える。 フカボリ! : 映像を見て、ニューヨークと日本の天気予報の違いについて考える。	【※1】を参照

		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。				
8	22 ~ 23 (30分)	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.25) の「聞いてみよう②」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		世界探検	スウェーデンの子供が話す映像を見て、人気の食べ物や自然現象について知る。	
		物語探検	少年とネコの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)	p.23の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。	
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や世界探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。				

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 3 My Weekend	教科書ページ	pp.28-35
		配当時間	8 時間
単元目標	お互いの生活をよく知るために、週末にしたことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、週末にしたことについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。	学習時期	6~7 月
		関連の他教科	道徳
主な表現	【週末の感想】 How was your weekend? / It was (感想). 【したこと】 I went to / I enjoyed / I ate / I played 【その他】 Sounds good! / How was the weather? / It was (天気). / Are you good at ...? / Cool!		
主な語彙	したこと / 町 / 感想・様子 / スポーツ / 天気 など	場面	教室 / パーティー
働き・機能	質問する、答える、説明する、感想を言う		
工夫(ストラテジー)	内容を整理して伝える		

▶ 評価規準例 Unit 3 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.121 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話 (やり取り) = 話すこと (やり取り) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※週末にしたことについてのやり取りの概要を捉える。					
1	26 ~ 27	展開 (20分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.34) の「Kk の音」 / Let's Sing (歌) "How was your weekend?" / Small Talk "What do you do on weekends?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、週末に行った場所を書く。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第2時) ※週末にしたことについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	26 ~ 27	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.34) の「Pp の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
		Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第3時) ※週末にしたことについて、友達と伝え合ったり書いたりする。					
3	28 ~ 29	展開	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.34) の「Rr の音」 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try 1 : 聞くこと / ●知・技 知 I went to や I enjoyed
			Let's Watch	週末にしたことや感想のたずね方や答え方を確認する。	
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、週末にしたことを聞き取る。	

		Let's Chant	"It was great!"	I ate ..., It was ... およびその関連語句について理解している。 [技] 週末にしたことについてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。	
		Let's Try 1	週末にしたことをペアで伝え合う。		
		Let's Read and Write	例文の音声を読んで読み、週末に楽しんだことを書く。		
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Your Turn (第4時) ※週末についての感想やしたことを伝え合ったり書いたりする。					
4	28 ~ 29	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.34) の「Ssの音」/ Small Talk "How was your breakfast?" / 目標の確認	Let's Try 2: 聞くこと / ●知・技 [知] 【I went to ..., I enjoyed ..., I ate ..., It was ... およびその関連語句】について理解している。 [技] 週末にしたことについてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、週末の感想やしたことについて聞き取る。	
			Let's Chant	"It was great!"	
			Let's Try 2	週末の感想やしたことについてペアでたずね合う。	
			Let's Read and Write	例文の音声を読んで読み、週末に食べたものを書く。	
			まとめ (5分)	p.29の「ふり返り」を確認する。	
Enjoy Communication (第5時) ※週末についての感想やしたことについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。					
5	30 ~ 31	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.35) の「Ttの音」/ Small Talk "How was your dinner last night?" / 目標の確認	Step 2: 話 (やり取り) / ●知・技 [知] 【同上】について理解している。 [技] 週末にしたことについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2: 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、週末にしたことについて、やり取りを聞いて概要を捉えている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"It was great!"	
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に考えを記入したり、「週末にしたことカード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・週末の感想やしたことについてペアで伝え合い、内容面や態度面の改善をする。	
			まとめ (5分)	p.31の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。	
Enjoy Communication (第6時) ※お互いの生活をよく知るために、週末にしたことを伝え合う。					
6	30 ~ 31	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.35) の「Review ③」/ 目標の確認	Your Goal: 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、週末にしたことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。 Your Goal: 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。
			Let's Chant	"It was great!" で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、週末にしたことを伝え合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、言ったことを1文書く。	
			まとめ (5分)	p.31の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43)を確認する。	
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の人が休みの日にしていることなどについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	32 ~ 33	展開 (25分)	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.35) の「Uuの音」/ Small Talk "How was your summer vacation?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			文化探検	映像を見て世界の子供が昨年の夏休みにしたことについて知り、自分の(日本の)夏休みとの違いを考える。 フカボリ!: 映像を見て、スペインの夏祭りについて知る。	
			まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	

Over the Horizon （第8時）※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	32 ~ 33	展開 (30)	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.35) の「聞いてみよう③」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行 うが、記録に残す評価は行わ ない。 【※1】を参照
			世界探検	インドの子供が話す映像を見て、週末にしたことやインドの食べ物について知る。	
			物語探検	少年とネコの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)	p.33の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。		
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や世界探検）にかける時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。					

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 1 発信！ わたしのニュースあれこれ	教科書ページ	pp.36-37
		配当時間	2 時間
単元目標	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。	学習時期	7 月
		関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】 I like / My treasure is / It's from / I (頻度) ... (日常生活). / I went to / It was など		
主な語彙	遊び / 身の回りのもの / 動作 / したこと / 町 など	場面	教室での発表
働き・機能	発表する、説明する、報告する		
工夫(ストラテジー)	聞き手と目を合わせて話す		

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>【好きなものや宝物、一日の生活、したことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。</p> <p><技能>日常生活や最近の出来事についての発表を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。</p>	相手のことをよく知るために、日常生活や最近の出来事について、短い話を聞いて概要を捉えている。	相手のことをよく知るために、日常生活や最近の出来事についての短い話の概要を聞き取ろうとしている。
話すこと(発表)	<p><知識>【同上】について理解している。</p> <p>◎</p> <p><技能>日常生活や最近の出来事について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎</p>	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A (十分満足できる)	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事などについて、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	自分のことを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B (おおむね満足できる)	<p>①好きなものや宝物</p> <p>②日常生活、習慣</p> <p>③最近の出来事について、おおむね正しく話すことができる。</p>	自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事などについて、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	自分のことを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C (努力を要する)	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	36 ～ 37	※本時の目標		お互いのことをよく知るために、日常生活や最近の出来事について、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 1～3 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	好きなことや宝物、日常生活や最近したことなどについて、指導者と児童でやり取りする。実態に応じ、児童どうしてもやり取りする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP：話（発表） / ●知・技 【知】【好きなものや宝物、一日の生活、したことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。 【技】日常生活や最近の出来事について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			HOP	・メグの発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	
STEP	・p.37 のチャートで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 1～3 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.36 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。				
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
2	36 ～ 37	※本時の目標		自分のことをよく伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (5分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 1～3 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 1～3 の Let's Chantの中から 1～2 曲を選び、全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (20分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の動画を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP：話（発表） / ◆思・判・表 《自分のことを伝えるために、日常生活や最近の出来事について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを》話している。 JUMP：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
			JUMP	・ローテーション形式で、相手をかえて何度か発表する。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。	
まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・(可能であれば) 1 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.37 の JUMP に記入する。 ・指導者は 1 学期のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。			

▶ 単元概要

単元名	Unit 4 Let's see the world.		教科書ページ	pp.38-47
			配当時間	8 時間
単元目標	行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、行きたい国とそこでできることについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	9～10 月
			関連の他教科	社会
主な表現	【行きたい国】 Let's go to / Where do you want to go? / I want to go to 【できること】 You can see / You can eat / You can visit / It's 【その他】 Anything else?			
主な語彙	動作 / 感想・様子 / 町 など	場面	教室	
働き・機能	質問する、答える、説明する			
工夫(ストラテジー)	タブレット端末などで写真を見せながら紹介する			

▶ 評価規準例 Unit 4 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.143 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話(やり取り) = 話すこと(やり取り) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※行きたい国とそこでできることについてのやり取りの概要を捉える。					
1	38 ~ 39	展開 (20分)	導入(20分)	挨拶 / SL (p.46) の「Vv の音」 / Let's Sing (歌) "I want to go to America!" / Small Talk "What's this country?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
		まとめ(5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第2時) ※行きたい国とそこでできることについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	38 ~ 39	展開 (30分)	導入(10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.46) の「Ww の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"You can eat spicy food."	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、行きたい国を書く。				
まとめ(5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第3時) ※行きたい国とそこでできることについて、友達と紹介し合う。					
3	40	導入(10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.46) の「Yy の音」 / 目標の確認	Let's Listen : 聞くこと / ●	

	~ 41	展開 (30分)	Let's Watch	行きたい国のたずね方や答え方、そこでできることの伝え方を確認する。	知・技 [知] Let's go to や You can see [eat / buy]、It's、Where do you want to go? とその答え方、およびその関連語句について理解している。 [技] 行きたい国とそこでできることについてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Listen	やり取りを聞いて、行きたい国とそこでしたいことを聞き取る。	
			Let's Chant	"You can eat spicy food."	
			Let's Try	世界の国でできることをペアで伝え合う。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Your Turn (第4時) ※自分の行きたい国とそこでできることについて調べて、例文を参考に書く。					
4	40 ~ 41	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.46) の「Zz の音」 / Small Talk "Where do you want to go?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
			Let's Chant	"You can eat spicy food."	
			Let's Read and Write	例を参考に、行きたい国、そこで見られるものや食べられるもの、買えるものなどについて書く。	
		まとめ (5分)	p.41の「ふり返り」を確認する。		
Enjoy Communication (第5時) ※行きたい国とそこでできることについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで紹介する内容を考える。					
5	42 ~ 43	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.47) の「Xx の音」 / Small Talk "What do you want to eat?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 [知] [Let's go to や You can see [eat / buy]、It's、Where do you want to go? とその答え方、およびその関連語句] について理解している。 [技] 行きたい国とそこでできることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 世界の国の魅力を知るために、行きたい国とそこでできることについて、やり取りを聞いて概要を捉えている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"You can eat spicy food."	
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報や考えを記入したり、「行きたい国カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・行きたい国とその魅力についてペアで紹介し合い、内容面や態度面の改善をする。	
		まとめ (5分)	p.43の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。		
Enjoy Communication (第6時) ※行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることを紹介し合う。					
6	42 ~ 43	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.47) の「Review ④」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《世界の国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。
			Let's Chant	"You can eat spicy food." で重要表現の口慣らしをする。	
		Your Goal	・モデル映像を視聴後、行きたい国とその魅力を紹介し合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、言ったことを書く。		
まとめ (5分)	p.43の「ふり返り」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43) を確認する。				
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界遺産の魅力などについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					

7	44 ~ 45	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.47) の「iの音」 / Small Talk "What do you want to see?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わ ない。 【※1】を参照
		展 開 (25分)	文化探検	海外の世界遺産についての映像を見て、その魅力などを考える。 フカボリ！：映像を見て、日本の世界遺産について知る。	
			まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	
		Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。			
8	44 ~ 45	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.47) の「聞いてみよう④」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わ ない。 【※1】を参照
		展 開 (30分)	世界探検	スペインの子供が話す映像を見て、スペインの名所・有名な食べ物・祭りなどについて知る。	
			物語探検	ウミガメの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)	p.45の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。		
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や世界探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。					

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 5 Where is it from?		教科書ページ	pp.48-59
			配当時間	8 時間
単元目標	自分たちと世界とのつながりを知るために、身の回りのものの生産国について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、身の回りのものやその生産国について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	10~11 月
			関連の他教科	社会
主な表現	【ものの紹介】 This is my 【どこから来たか】 Where is it from? / It's from / My ... is from (国). / (国) is in (地域). 【オリジナルサンドイッチ】 Tell me about your sandwich. / My sandwich is a ... sandwich. / (アルファベット) is for (食材). 【その他】 ... is a nice country. / We are the ... team. / Can you guess?			
主な語彙	衣類 / 食材 / 文房具 など	場面	家庭 / 教室	
働き・機能	発表する、説明する、質問する、答える			
工夫(ストラテジー)	聞き手を意識して質問を投げかける			

▶ 評価規準例 Unit 5 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.161 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話 (発表) = 話すこと (発表) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※身の回りのものの生産国についてのやり取りの概要を捉える。					
1	48 ~ 49	展開 (20分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.58) の「Qq の音」 / Let's Sing (歌) "One Big World" / Small Talk "Where is New Zealand?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第2時) ※身の回りのものの生産国についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	48 ~ 49	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.58) の「Ee の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
		Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、身の回りのものを書く。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第3時) ※オリジナルサンドイッチを考え、その食材と産地を伝え合ったり書いたりする。					
3	50	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.58) の「Review ⑤」 / 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try : 聞くこ	

	51	展開 (30分)	Let's Watch	身の回りのものたずね方や紹介の仕方を確認する。	と / ●知・技 知 This is, It's from, 国名 is in 地域., およびその関連語句について理解している。 扱 身の回りのものとその生産国についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、食材や産地を聞き取る。	
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
			Let's Try	オリジナルサンドイッチを考え、食材と産地をたずね合う。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Your Turn (第4時) ※身の回りのものの生産国やその地域を調べて、例文を参考に書く。					
4	50 ~ 51	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.58) の「聞いてみよう⑤」 / Small Talk "What vegetable do you like?" / 目標の確認	Let's Listen 2: 聞くこと / ●知・技 知 【This is, It's from, 国名 is in 地域., およびその関連語句】について理解している。 扱 身の回りのものとその生産国についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
			Let's Listen 2	やり取りを聞いて、T シャツの生産国を聞き取って書く。	
		Let's Read and Write	・グループで調べるジャンルを決める(食べ物・文房具など)。 ・身の回りのものの生産国と、その国が属する地域を書く。		
まとめ (5分)	p.51の「ふり返し」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※身の回りのものの生産国について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、グループ発表の内容を考える。					
5	52 ~ 53	展開 (25分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.59) の「Review ⑥」 / Small Talk "Is your glue from Japan?" / 目標の確認	Step 2: 話 (発表) / ●知・技 知 【同上】について理解している。 扱 身の回りのものとその生産国について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"Where is this chicken from?"	
		Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に前時に調べたことを記入したり、「世界とのつながりカード」を作ったりしながら、グループで発表する内容を考える。 ・ペアやグループで発表とその後のやり取りの練習をし、内容面や態度面の改善をする。		
まとめ (5分)	p.53の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。				
Enjoy Communication (第6時) ※自分たちと世界とのつながりについて知るために、身の回りのものの生産国などをグループで発表する。					
6	52 ~ 53	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.59) の「聞いてみよう⑥」 / 目標の確認	Your Goal: 聞くこと / ◆思・判・表 自分たちと世界とのつながりをよく知るために、身の回りのものとその生産国についてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。 Your Goal: 話 (発表) / ◆思・判・表 《自分たちと世界とのつながりを伝えるために、身の回りのものとその生産国について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどをグループで》発表している。 Your Goal: 話 (発表) / ★態度 《同上》協力して発表しようとしている。
			Let's Chant	"Where is this chicken from?" で重要表現の口慣らしをする。	
		Your Goal	・モデル映像を視聴後、身の回りのものがどの国から来たのかなどについてグループで発表する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返し」に記入し、発表したことを書く。		
まとめ (5分)	p.53の「ふり返し」やCAN-DOの樹 (MPD pp.42-43)を確認する。				

Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、日本と世界との交流の歴史などについて考え、日本と世界のつながりに対する理解を深める。				
7	54 ~ 57	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.59) の「Review ⑦」 / Small Talk “Where is your water bottle from?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行 うが、記録に残す評価は行わ ない。 【※1】を参照
		展開 (25分)	文化探検 シルクロードやそこを通して日本にやって来た宝物 の映像を見て、日本と世界との交流について考える。 フカボリ! : pp.56-57 を見て、番号の音声を聞いた り、日本と世界との関係について考えたりする。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。				
8	54 ~ 57	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.59) の「聞いてみよう⑦」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行 うが、記録に残す評価は行わ ない。 【※1】を参照
		展開 (30分)	世界探検 ガーナの子供が話す映像を見て、ガーナの名産品やゆ かりのある日本人について知る。 物語探検 ウミガメの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したり する。	
		まとめ (5分)	p.55の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返 る。	
単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や世界探検）にかける時間を短縮するなどして実施時間を確保する。 テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。				

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 6 Save the animals.		教科書ページ	pp.60-69
			配当時間	8時間
単元目標	生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所や直面する問題、生き物のためにできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、それらについて、例文を読んだり、例文を参考に書いたりすることができる。		学習時期	11~12月
			関連の他教科	理科
主な表現	【生き物】 Let's save the / Where do ... live? / ... live in 【抱える問題・できること】 ... is a big problem. / We can 【その他】 I have an idea. / Nice idea!			
主な語彙	自然 / 海の生き物 / 生き物の問題・できること / 動物 など	場面	家庭 / 教室	
働き・機能	発表する、説明する			
工夫(ストラテジー)	みんなで協力する			

▶ 評価規準例 Unit 6 の全ての評価規準例は指導書『研究編』 p.179 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話 (発表) = 話すこと (発表) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動	記録に残す評価
Starting Out (第1時) ※世界が抱える環境問題などについてのやり取りの概要を捉える。			

1	60 ~ 61	導入 (20分)		挨拶 / SL (p.68) の「ch の音」 / Let's Sing (歌) "We all live together." / Small Talk "What animal do you like?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行 うが、記録に残す評価は行わな い。 【※1】児童の授業中の様子を観察 し、「聞くこと」についての「主体的 に学習に取り組む態度」に関して加 点要素が見られた場合は記録に残す 評価としてもよい。
		展 開 (20分)	Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言 う。	
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。	
Starting Out (第2時) ※世界が抱える環境問題などについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	60 ~ 61	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.68) の「sh の音」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行 うが、記録に残す評価は行わな い。 【※1】を参照
		展 開 (30分)	Let's Chant	"Let's save the animals!"	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者 と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入 する。	
			Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、救いたい生き物を書く。	
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
Your Turn (第3時) ※生き物が暮らす場所について、友達とたずね合う。					
3	62 ~ 63	導入 (10分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.68) の「th の音①」 / 目標の確認	Let's Listen : 聞くこと / ●知・技 【知】 Let's save、Where do 生き 物名 live? とその答え方、... is a big problem.、 We can、およびその 関連語句について理解している。 【技】 生き物が暮らす場所と直面する 問題についてのスピーチを聞いて、 概要を捉える技能を身につけてい る。
		展 開 (30分)	Let's Watch	生き物の暮らす場所や抱える問題の言い方を確認す る。	
			Let's Listen	スピーチを聞いて、生き物の暮らす場所と抱える問題 を聞き取る。	
			Let's Chant	"Let's save the animals!"	
			Let's Try	生き物の暮らす場所をペアでたずね合う。	
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
Your Turn (第4時) ※生き物のためにできることについて読んだり、生き物が暮らす場所や抱えている問題について例文を参考に行ったりする。					
4	62 ~ 63	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.68) の「th の音②」 / Small Talk "What do penguins eat?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行 うが、記録に残す評価は行わな い。
		展 開 (25分)	Let's Chant	"Let's save the animals!"	
			Let's Read	写真などをヒントに、慣れ親しんだ文で書かれたポス ターを読む。	
			Let's Read and Write	生き物が暮らす場所と、抱えている問題を書く。	
まとめ (5分)		p.63 の「ふり返し」を確認する。			
Enjoy Communication (第5時) ※救いたい生き物や身近でできることについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。					
5	64 ~ 65	導入 (15分)		(歌) / 挨拶 / SL (p.69) の「wh の音」 / Small Talk "Where do lions live?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (発表) / ●知・技 【知】 【Let's save、Where do 生き 物名 live? とその答え方、... is a big problem.、 We can、およびその
		展 開	Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながら音声を聞 く。	

		Let's Chant	"Let's save the animals!"	関連語句] について理解している。 ㊦ 生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについての短い話を聞いて概要を捉えている。
		Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報や考えを記入したり、「わたしたちができることカード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・ペアやグループで発表の練習をし、内容面や態度面の改善をする。	
		まとめ (5分)	p.65の「Before 発表で気をつけたいこと」に記入する。	

Enjoy Communication (第6時) ※生き物への理解を深めるために、生き物のことや身近でできることを発表し合う。

6	64 ~ 65	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.69) の「Review ⑧」 / 目標の確認	Your Goal : 話 (発表) / ◆思・判・表 《生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》話している。 Your Goal : 話 (発表) / ★態度 《同上》話そうとしている。
			Let's Chant	"Let's save the animals!" で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、生き物のために身近でできることについて発表する。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度発表する。 ・「After 活動のふり返し」に記入し、発表したことを書く。	
		まとめ (5分)	p.65の「ふり返し」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。		

Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の生き物と日本の関係について考え、世界の生き物が抱えている問題に対する理解を深める。

7	66 ~ 67	展開 (30分)	導入 (15分)	挨拶 / 歌 / SL (p.69) の「Review ⑨」 / Small Talk "What can we do for the sea turtles?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			文化探検	ボルネオ島のゾウの映像を見て、世界の生き物が抱える問題について考える。 フカボリ! : 生態系などに配慮した農作物の生産について考える。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		

Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。

8	66 ~ 67	展開 (30分)	導入 (10分)	挨拶 / 歌 / SL (p.69) の「聞いてみよう⑧」 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			世界探検	ブラジルの子供が話す映像を見て、アマゾンの熱帯雨林の特徴や抱える問題について知る。	
		物語探検	ウミガメの物語を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。		
		まとめ (5分)	p.67の「ふり返し」を確認する。本単元全体も振り返る。		

☞ 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ！や世界探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 2 始めよう！ 地球のためにできること	教科書ページ	pp.70-71
		配当時間	2時間
単元目標	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。	学習時期	12月
		関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】 I want to go to / You can see [eat/visit] / It's / My ... is from (国). / (国) is in (地域). / Let's save / ... live in / ... is a big problem. / We can など		
主な語彙	動作 / 感想・様子 / 生き物の問題・できること など	場面	教室でのポスター発表
働き・機能	発表する、説明する		
工夫(ストラテジー)	特に伝えたい大事な部分はゆっくり話す		

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>【生き物や地球のためにできることなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。</p> <p><技能>生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについての発表を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。</p>	地球に対する相手の考えをよく知るために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについての短い話を聞いて概要を捉えている。	地球に対する相手の考えをよく知るために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについての短い話の概要を聞き取ろうとしている。
話すこと(発表)	<p><知識>【同上】について理解している。◎</p> <p><技能>生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎</p>	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A (十分満足できる)	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B (おおむね満足できる)	①生き物や地球が直面する問題 ②自分たちができることについて、おおむね正しく話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	地球に対する自分の考えを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。

C (努力を要する)	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。
------------	---------	---------	---------

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD=My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	70 ～ 71	※本時の目標		地球に対するお互いの考えを知るために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 4～6 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	行きたい国や身の回りのもの、救いたい生き物などについて、指導者と児童でやり取りする。実態に応じ、児童どうしてもやり取りする。	
		展開 (20分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP：話（発表） / ●知・技 【知】生き物や地球のためにできることなどを伝える表現や関連語句などについて理解している。 【技】生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			HOP	・元気の発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	
STEP	・p.71 のマッピングで、考えや情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 4～6 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.70 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。				
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
2	70 ～ 71	※本時の目標		地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (6分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 4～6 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 4～6 の Let's Chant の中から 1～2 曲を選び、全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の動画を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP：話（発表） / ◆思・判・表 《地球に対する自分の考えを伝えるために、生き物や地球が直面する問題や、自分たちができることについて、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを》話している。 JUMP：話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
			JUMP	・ポスターセッション形式で、相手をかえて何度か発表する。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。	
まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・(可能であれば) 2 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.71 の JUMP に記入する。 ・指導者は 2 学期のフィードバックとして、児童の成長に触れ、自信をもたせる。			

▶ 単元概要

単元名	Unit 7 My Best Memory		教科書ページ	pp.72-81
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いのことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出について聞き取ったり紹介したりすることができる。また、小学校生活の一番の思い出について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	1～2 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【思い出】 What's your best memory? / My best memory is 【したことや感想】 What did you do? / We went to / We ate [saw] / It was 【その他】 How was ...? / Nice talking to you.			
主な語彙	したこと / 学校行事 / 町 / 感想・様子 など	場面	教室 / オンライン会話	
働き・機能	質問する、答える、説明する、感想を言う			
工夫(ストラテジー)	これまで学習した表現を使う			

▶ 評価規準例 Unit 7 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.201 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話(やり取り) = 話すこと(やり取り) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※小学校生活の思い出についてのやり取りの概要を捉える。					
1	72 ~ 73	展開 (20分)	導入 (20分)	挨拶 / SL (p.80) の①の英文を読む。/ Let's Sing (歌) "Four Seasons" / Small Talk "What do you like about school?" / Our Goal の映像を視聴し、目指す姿を確認する。	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加點要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。
			Listen and Think	・イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 ・音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 ・アニメを見て、会話内容を確認する。	
			Let's Chant	・一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 ・必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Starting Out (第2時) ※小学校生活の思い出についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	72 ~ 73	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.80) の②の英文を読む。/ 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"What's your best memory?"	
			Listen and Think	アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。	
			Watch and Think	・映像を見て、 1 の答えを確認する。 ・自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。	
		Let's Read and Write	例文の音声を聞いて読み、一番の思い出を書く。		
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第3時) ※小学校生活の一番の思い出について、友達と伝え合う。					
3	74 ~	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.80) の③の英文を読む。/ 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try : 聞くこと / ●知・技	

	75	展開 (30分)	Let's Watch	一番の思い出のたずね方や答え方を確認する。	知 What's your best memory?、My best memory is、We went to、It was、およびその関連語句について理解している。 技 小学校生活の一番の思い出についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Listen 1	やり取りを聞いて、小学校生活の一番の思い出を聞き取る。	
			Let's Chant	"What's your best memory?"	
			Let's Try	小学校生活の一番の思い出などをペアでたずね合う。	
		まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。		
Your Turn (第4時) ※小学校生活の一番の思い出について読んだり、例文を参考に書いたりする。					
4	74 ~ 75	展開 (35分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.80) の④の英文を読む。 / Small Talk "What school event do you like?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"What's your best memory?"	
			Let's Read	・写真などをヒントに、慣れ親しんだ文で書かれたメモを読む。 ・ペアでメモを声に出して読み合う。	
			Let's Listen 2	発表の音声を聞き、自分たちの読み方と比べる。	
		Let's Read and Write	p.74 の Let's Read and Write に取り組む。例文の音声を聞いて読み、一番の思い出について「したこと」や「感想」を書く。		
まとめ (5分)	p.75 の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※小学校生活の一番の思い出について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。					
5	76 ~ 77	展開 (35分)	導入 (15分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.81) の⑤の英文を読む。 / Small Talk "How was your school trip?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 知 【What's your best memory?、My best memory is、We went to、It was、およびその関連語句】について理解している。 技 小学校生活の一番の思い出について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手のことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出についてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いつながりながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"What's your best memory?"	
		Step 2	・MPD で活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に情報や考えを記入したり、「思い出カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・小学校生活の思い出などについてペアで伝え合い、内容面や態度面の改善をする。		
まとめ (5分)	p.77 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。				
Enjoy Communication (第6時) ※お互いのことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出などを伝え合う。					
6	76 ~ 77	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌) / 挨拶 / SL (p.81) の⑥の英文を読む。 / 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。
			Let's Chant	"What's your best memory?" で重要表現の口慣らしをする。	
		Your Goal	・モデル映像を視聴後、小学校生活の思い出などを伝え合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、会話したことを書く。		
まとめ (5分)	p.77 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-				

			43)を確認する。		
Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、世界の小学校の生活や行事などについて考え、世界の文化に対する理解を深める。					
7	78 ~ 79	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.81) の⑦の英文を読む。 / Small Talk "What's your best memory?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (25分)	文化探検	イギリスの小学校の行事についての映像を見て、自分の学校との違いなどについて考える。	
				フカボリ! : 外国の小学生におすすめしたい日本の行事について考える。	
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	78 ~ 79	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.81) の⑧の英文を読む。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
		展開 (30分)	世界探検	中国の子供が話す映像を見て、小学校生活の思い出や、中国と日本の共通点などについて知る。	
			物語探検	マララ・ユスフザイの半生や名言を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)		p.79の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。	
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ! や世界探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。					

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Unit 8 My Future, My Dream		教科書ページ	pp.82-91
			配当時間	8 時間
単元目標	お互いの夢を応援するために、将来したいことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、中学校で入りたい部活動や将来の夢などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		学習時期	2～3 月
			関連の他教科	道徳
主な表現	【入りたい部活動】 What club do you want to join? / I want to join 【将来の夢】 What do you want to be? / I want to be a / I want to work [live/help] 【その他】 I like / I'm good at / Good luck!			
主な語彙	部活動 / 職業 / 動作 / 感想・様子 など	場面	教室 / 卒業式 / 空港	
働き・機能	質問する、答える、説明する			
工夫(ストラテジー)	ジェスチャーを使う			

▶ 評価規準例 Unit 8 の全ての評価規準例は指導書『研究編』p.219 を参照。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】 話(やり取り) = 話すこと(やり取り) / SL=Sounds and Letters / MPD=My Picture Dictionary
 知・技=知識・技能 / 思・判・表=思考・判断・表現 / 態度=主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		記録に残す評価	
Starting Out (第1時) ※中学校でしたいことや将来の夢についてのやり取りの概要を捉える。					
1	82 ～ 83	導入 (20分)		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】 児童の授業中の様子を観察し、「聞くこと」についての「主体的に学習に取り組む態度」に関して加点要素が見られた場合は記録に残す評価としてもよい。	
		展開 (20分)	Listen and Think		<ul style="list-style-type: none"> イラストを見て、場面や会話内容を推測する。 音声を聞き、対応するイラストの○に番号を書く。 アニメを見て、会話内容を確認する。
			Let's Chant		<ul style="list-style-type: none"> 一度聞いて、リピートのタイミングを確認する。 必要に応じて MPD で語句を確認し、チャンツを言う。
		まとめ (5分)			本時の学習を振り返る。
Starting Out (第2時) ※中学校でしたいことや将来の夢についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつ。					
2	82 ～ 83	導入 (10分)		本時では目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照	
		展開 (30分)	Let's Chant		"I want to be a star!"
			Listen and Think		アニメを見て、聞き取った重要な表現を使って指導者と児童でやり取りする。
			Watch and Think		<ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、1の答えを確認する。 自分なら何を伝えたいかを考え、Your Plan に記入する。
Let's Read and Write		例文の音声を聞いて読み、入りたい部活動を書く。			
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
Your Turn (第3時) ※中学校で入りたい部活動や将来の夢について、友達と伝え合う。					

3	84 ~ 85	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.90) の⑪の英文を読む。/ 目標の確認	Let's Listen 1・Let's Try : 聞くこと / ●知・技 [知] What club do you want to join?, I want to join ..., What do you want to be?, I want to be ... およびその関連語句について理解している。 [技] 中学校生活でしたいことや将来の夢についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身につけている。
			Let's Watch	入りたい部活動や将来の夢のたずね方や答え方を確認する。	
			Let's Listen 1	会話を聞いて、入りたい部活動と将来の夢を聞き取る。	
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
			Let's Try	入りたい部活動と将来の夢をペアでたずね合う。	
まとめ (5分)	本時の学習を振り返る。				
Your Turn (第4時) ※中学校で入りたい部活動や将来の夢について読んだり、例文を参考に書いたりする。					
4	84 ~ 85	展開 (30分)	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.90) の⑫の英文を読む。/ Small Talk "What club do you want to join?" / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わぬが、記録に残す評価は行わない。 【※1】を参照
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
			Let's Read	・写真などをヒントに、慣れ親しんだ文で書かれたメモを読む。 ・ペアでメモを声に出して読み合う。	
			Let's Listen 2	発表の音声を聞き、自分たちの読み方と比べる。	
			Let's Read and Write	p.84 の Let's Read and Write に取り組む。例文の音声を聞いて読み、将来の夢を書く。	
まとめ (5分)	p.85 の「ふり返り」を確認する。				
Enjoy Communication (第5時) ※中学校で入りたい部活動や将来の夢について、表現を振り返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。					
5	86 ~ 87	展開 (30分)	導入 (15分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.91) の⑬の英文を読む。/ Small Talk "What do you want to be?" / 目標の確認	Step 2 : 話 (やり取り) / ●知・技 [知] 【What club do you want to join?, I want to join ..., What do you want to be?, I want to be ... およびその関連語句】について理解している。 [技] 中学校生活でしたいことや将来の夢について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 Step 2 : 聞くこと / ◆思・判・表 相手の夢を応援するために、中学校生活でしたいことや将来の夢についてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。
			Step 1	モデル映像を見た後、英文を指で追いながら音声を聞く。	
			Let's Chant	"I want to be a star!"	
			Step 2	・MPDで活動に必要な語句を確認する。 ・空欄に考えを記入したり、「将来カード」を作ったりしながら、伝えたい内容を整理する。 ・入りたい部活動やなりたい職業などについてペアで伝え合い、内容面や態度面の改善をする。	
			まとめ (5分)	p.87 の「Before 会話で気をつけたいこと」に記入する。	
Enjoy Communication (第6時) ※お互いの夢を応援するために、将来したいことなどを伝え合う。					
6	86 ~ 87	展開 (30分)	導入 (10分)	(歌)/ 挨拶 / SL (p.91) の⑭の英文を読む。/ 目標の確認	Your Goal : 話 (やり取り) / ◆思・判・表 《お互いの夢を応援するために、中学校生活でしたいことや将来の夢について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを》伝え合っている。 Your Goal : 話 (やり取り) / ★態度 《同上》伝え合おうとしている。
			Let's Chant	"I want to be a star!" で重要表現の口慣らしをする。	
			Your Goal	・モデル映像を視聴後、将来したいことなどを伝え合う。 ・全体で中間指導の時間をとり、再度やり取りする。 ・「After 活動のふり返り」に記入し、会話したことを書く。	
			まとめ (5分)	p.87 の「ふり返り」や CAN-DO の樹 (MPD pp.42-43) を確認する。	

Over the Horizon (第7時) ※映像や音声を手がかりにして、英語を使う仕事などについて考え、英語で広がる世界に対する理解を深める。					
7	88 ~ 89	導入 (15分)		挨拶 / 歌 / SL (p.91) の⑮の英文を読む。 / Small Talk “Do you like English?” / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わぬが、記録に残す評価は行わぬ。 【※1】を参照
		展開 (25分)	文化探検	海外で働く日本人の映像を見て、英語を使う仕事や多様性などについて考える。	
				フカボリ! : 母語以外の言語を学ぶ理由について考える。	
		まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。	
Over the Horizon (第8時) ※映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。					
8	88 ~ 89	導入 (10分)		挨拶 / 歌 / SL (p.91) の⑯の英文を読む。 / 目標の確認	本時では目標に向けて指導は行わぬが、記録に残す評価は行わぬ。 【※1】を参照
		展開 (30分)	世界探検	トルコの子供が話す映像を見て、トルコの地理的環境や名所・名物などについて知る。	
			物語探検	中村哲の伝記や名言を、絵を見ながら聞いたり音読したりする。	
		まとめ (5分)		p.89の「ふり返り」を確認する。本単元全体も振り返る。	
 単元末テストを実施する場合、第7・8時の一部の活動（フカボリ! や世界探検）にかかる時間を短縮するなどして実施時間を確保する。テストには、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の知・技、「聞くこと」の思・判・表を見取るための問題がある（詳細は『ワークシート編』または『指導書コンテンツライブラリー』参照）。					

※「読むこと」「書くこと」の記録に残す評価については、各学校の学習状況を踏まえ決定する。実施する場合には、特定の活動で評価を決定するのではなく、教科書への書き込みやワークシート、単元末テストなどを活用し、単元内で継続的に見取ったうえで、総合的に評価することが望ましい。

▶ 単元概要

単元名	Check Your Steps 3 卒業！ 今伝えたい、わたしの思い出	教科書ページ	pp.92-93
		配当時間	2 時間
単元目標	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで考えや気持ちなどを発表することができる。	学習時期	3 月
		関連の他教科	—
主な表現	【既習事項の復習】 My best memory is / We went to / We ate [saw] / It was / I want to join / I want to be a / I want to work [live/help] など		
主な語彙	学校行事 / 感想・様子 / 部活動 / 職業 / 動作 など	場面	教室での発表、メッセージ動画
働き・機能	発表する、説明する		
工夫(ストラテジー)	感想を伝えたり、相手を応援したりする		

▶ 評価規準例 ※◎の付いた観点・領域は、記録に残す評価を行うことを推奨する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識>【出来事やその感想、したいことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。</p> <p><技能>小学校生活の思い出や将来の夢についての発表を聞いて、概要を捉える技能を身につけている。</p>	卒業にあたっての相手の思いを知るために、小学校生活の思い出や将来の夢についての短い話を聞いて概要を捉えている。	卒業にあたっての相手の思いを知るために、小学校生活の思い出や将来の夢についての短い話の概要を聞き取ろうとしている。
話すこと(発表)	<p><知識>【同上】について理解している。</p> <p>◎</p> <p><技能>小学校生活の思い出や将来の夢について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。◎</p>	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。◎	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。◎

▶ 「話すこと(発表)」の評価ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A (十分満足できる)	Bに加えて、今までに学んだ簡単な語句や基本的な表現を入れて、十分に正しく話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、伝える内容や順番などを十分に整理したうえで話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して十分に分かりやすく話すことができる。
B (おおむね満足できる)	①小学校生活の一番の思い出 ②中学校で入りたい部活動 ③将来の夢 について、おおむね正しく話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、伝える内容や順番などを整理したうえで話すことができる。	卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、アイコンタクトやリアクションなど相手を意識して分かりやすく話すことができる。
C (努力を要する)	Bに満たない。	Bに満たない。	Bに満たない。

▶ 単元指導計画例 ※色の付いた部分は記録に残す評価を行うことを推奨する活動。

【略語】話（発表）＝話すこと（発表） / MPD＝My Picture Dictionary
 知・技＝知識・技能 / 思・判・表＝思考・判断・表現 / 態度＝主体的に学習に取り組む態度

時	頁	主な活動		◎記録に残す評価	
1	92 ～ 93	※本時の目標		卒業にあたってのお互いの思いを知るために、小学校生活の思い出や将来の夢について、具体的な情報を聞き取ったり、内容を整理したうえで話したりすることができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 7～8 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk	小学校生活の思い出や将来の夢などについて、指導者と児童でやり取りする。実態に応じ、児童どうしてもやり取りする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・映像を視聴し、単元の目標やゴール活動について確認する。 ・必要な表現や語彙を確認する。必要に応じて全員でルーブリックを共有する。	STEP : 話（発表） / ●知・技 【知】【出来事やその感想、したいことなどを伝える表現や関連語句など】について理解している。 【技】小学校生活の思い出や将来の夢について、【同上】を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。
			HOP	・七海の発表の音声を聞き、分かったことを記入欄に書く。 ・分かったことをペアや全体で確認する。	
STEP	・p.93 のプロフィールシートで、情報を整理する。 ・個別学習の時間。児童は、教科書の映像や音声を視聴して Unit 7～8 の学習を振り返ったり、MPD で語句の確認をしたりする。 ・ペアで発表の練習をする。指導者は必要に応じて中間指導を行う。 ・p.92 の「発表で工夫したいことを書こう。」に記入する。				
まとめ (5分)		本時の学習を振り返る。			
2	92 ～ 93	※本時の目標		卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで話すことができる。	
		導入 (10分)	挨拶	・授業開始前に、雰囲気づくりとして Unit 7～8 の Let's Sing を流す。 ・気分や日付、曜日、天気などについて聞く。	
			Small Talk など	第 1 時と同様の活動を行うか、Unit 7～8 の Let's Chant を全員で歌って口慣らしをする。	
		展開 (30分)	Your Goal	・前時の取り組みで良かった点や振り返りをクラスで共有する。 ・Your Goal の動画を視聴したり、活動の目的やルーブリックを再度確認したりする。また、前時に記入した「発表で工夫したいことを書こう。」を確認する。	JUMP : 話（発表） / ◆思・判・表 《卒業にあたっての自分の思いを伝えるために、小学校生活の思い出や将来の夢について、内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。 JUMP : 話（発表） / ★態度 《同上》話そうとしている。
			JUMP	・発表し、その様子を録画する。または事前に録画したものを視聴し合う。 ・指導者は中間指導を行い、良いスピーチとなるための工夫を全体で確認する。 ・何度か繰り返し実施した後、相互評価をする。	
まとめ (10分)		・MPD の CAN-DO の樹 (pp.42-43) を確認し、自己評価する。 ・(可能であれば) 3 学期のまとめとして、発表を録音し提出する。 ・教科書 p.93 の JUMP に記入する。 ・指導者は 3 学期や 1 年間のフィードバックとして、児童の成長に触れ、中学校生活に向けて自信をもたせる。			